



発送と郵便業務  
インサーター

# Relay™ 3000

ドキュメントインサーションシステム  
(標準コントロールパネル)

## 操作ガイド

SV63140-JA Rev. D

2016年4月

**SV63140-JA Rev. D ©2006, 2016 Pitney Bowes Inc.**

All rights reserved. ピツニーボウズの書面による明示的な許可がない限り、本書の一部または全部をいかなる方法においても複製することはできず、いかなる情報検索システムに保存することも、また、電子的または機械的を問わずいかなる方法においても伝送することはできません。ピツニーボウズでは、この文書の正確性および有用性を確保するため、あらゆる合理的な努力を行っていますが、誤りや脱落、あるいは弊社製品の誤用または不正使用による障害に関して責任を負うことはできません。

製品の改良を引き続き行っているため、機器やマテリアルの仕様および性能については、予告なしに変更される場合があります。E-Z Seal は Pitney Bowes Inc. の登録商標です。

安全性に関する注意 .....	v
-----------------	---

## 第 1 章・システムの概要

Relay 3000 インサーターの概要 .....	1-3
製品の機能 .....	1-3
Relay 3000 インサーター（コントロールパネル付き） - 各部の名称 .....	1-4
コントロールパネル .....	1-6
コントロールパネルのアイコン .....	1-8
表示言語の変更 .....	1-10

## 第 2 章・ジョブの設定

コントロールパネルを使用したナビゲーション .....	2-3
スキャンジョブ（OMR）と非スキャンジョブ .....	2-4
ジョブの設定 .....	2-5
セットアップモード .....	2-5
ジョブ番号（新しいジョブまたは既存のジョブ） の選択 .....	2-5
スキャンジョブ（OMR）の設定 .....	2-6
非スキャンジョブの設定 .....	2-14
既存ジョブの変更 .....	2-23
ジョブの削除 .....	2-23

## 第 3 章・ジョブの実行

ジョブの実行 .....	3-3
電源の確認 .....	3-4
ジョブの選択 .....	3-4
手差しフィードジョブ .....	3-5
用紙のセット .....	3-6
シートフィーダーの調整と用紙のセット .....	3-6
封筒フィーダーの調整と用紙のセット .....	3-7
インサートフィーダーの調整と用紙のセット .....	3-9
テストの実行 .....	3-11
テストとリンクフィード .....	3-11
操作中の用紙変更または二重検知に関する問題 .....	3-11

# 目次

---

処理の開始と停止 .....	3-12
封かん水の充填 .....	3-12
スタッカーの調整 .....	3-13

## 第 4 章・OMR スキャン

光学的マーク認識 (OMR) .....	4-3
正確性 .....	4-3
OMR とフィーダー .....	4-3
OMR スキャンのタイプ .....	4-4
基本 OMR .....	4-4
拡張 OMR .....	4-4
OMR のマーク位置 .....	4-4
OMR の仕様 .....	4-5
標準の OMR 位置 .....	4-6
オフセットの OMR 位置 .....	4-7
使用可能な OMR マーク .....	4-8
ベンチマーク .....	4-8
セーフティ .....	4-8
名寄せの終了 (EOC) .....	4-8
名寄せの開始 (BOC) .....	4-8
パリティ .....	4-8
リタイミングマーク .....	4-8
選択フィード (SF1、SF2) .....	4-9
オートバッチ .....	4-9
ラップアラウンドシーケンス (WAS1、WAS2、WAS3) .....	4-9
OMR マークのグループ .....	4-10
内三つ折りジョブおよび四つ折りジョブ .....	4-10
外三つ折りジョブおよび二つ折りジョブ .....	4-11
OMR スキャナーの調整 .....	4-12
OMR のトラブルシューティング .....	4-14
OMR ジョブのエラーリカバリー .....	4-14
名寄せジョブのエラーリカバリー .....	4-14
フィーダーが空の場合のエラーリカバリー .....	4-14
OMR のエラーメッセージ .....	4-15

**第 5 章・紙詰まり解消**

紙詰まり解消.....	5-3
マシン内部へのアクセスによる紙詰まりの除去.....	5-3
シートフィーダートレイ - 取り外しと取り付け.....	5-3
紙折りプレート - 取り外しと取り付け.....	5-4
インサートトレイ - 取り外しと取り付け.....	5-4
キャリッジアセンブリへのアクセス.....	5-4
封筒フィーダーエリアへのアクセス.....	5-5
封筒排出エリアへのアクセス.....	5-5
封筒封入／封かんエリアへのアクセス.....	5-6
シートフィードエリアへのアクセス.....	5-6

**第 6 章・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ**

トラブルシューティング全般.....	6-3
シーラーユニットのフェルトの交換.....	6-7
エラーメッセージ.....	6-9

**第 7 章・マテリアルの仕様**

マテリアルの仕様.....	7-3
シートフィーダー.....	7-3
インサートフィーダー.....	7-5
シーラー.....	7-5
スタッカー.....	7-5
用紙要件.....	7-5
封筒フィーダー.....	7-6
マシンの仕様.....	7-7
サービス.....	7-8

このページは意図的に空白になっています。

## 安全性に関する注意

マシンを使用する際、次の使用上の注意を守ってください。

- マシンを使用する前に、本書をよくお読みください。
- マシンは本来の目的以外に使用しないでください。
- マシンは、利用しやすいコンセントの近くに設置してください。
- マシンは、適度な通気が得られ、点検のしやすい場所に設置してください。
- この機器に付属の AC アダプター電源を使用してください。純正以外の AC アダプターを使用すると、機器が損傷する場合があります。
- AC アダプターは、機器の近くにあり、利用しやすい、適切にアースされたコンセントに直接差し込んでください。機械を適切に設置しないと、重大な事故の原因となることがあります。
- 電源コードを鋭い縁の上や家具の間に配線しないでください。
- 電源コードが張り過ぎないようにしてください。
- ユニットが損傷した場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
- 指、髪の毛、アクセサリー、衣服などは、常に可動部分から離すようにしてください。
- 機械の使用中は、可動部分または可動材料に触れないでください。紙詰まりを除く前に、マシンが完全に停止していることを確認してください。
- 紙詰まりした材料は、ゆっくりと慎重に取り除いてください。
- カバーを取り外さないでください。カバーの中には危険な部品が入っており、弊社サービス担当者以外は触れることができません。
- 火気があるものをマシンの上に置かないでください。
- 過熱を防ぐために、通気口を塞がないでください。
- 弊社純正の消耗品のみを使用してください。
- 不適切な保管状態、およびスプレー式ダスターや可燃性のスプレー式ダスターの使用は、事故の原因となる場合があります。
- 可燃の表示があるスプレー式ダスターは使用しないでください。スプレー式ダスターを使用する場合は、容器のラベルに記載されている指示や安全注意事項を必ずお読みください。
- 定期的な点検をせずにこの機器を運転すると、最適な運転性能が得られず、機器の機能不良の原因となることがあります。
- 必ず、御社の労働安全衛生基準に従ってください。
- 火事や感電の危険を減らすために、カバーを外したり、コントロールパネルまたはその基盤を分解したりしないでください。

# 安全性

---

- マシンが破損した場合や機能しない場合は、ただちにサービス担当者にご連絡ください。
- 以下については、販売元にご連絡ください。
  - 消耗品
  - ユニットが損傷した場合
  - 必要な保守サービススケジュール

## スタッカーに AC アダプターが付いている場合：

- スタッカー専用の AC アダプターのみを使用してください。純正以外の AC アダプターを使用すると、ユニットが損傷する場合があります。
- 感電を防ぐために、AC アダプターは適切にアースされた壁側のプラグに差し込んでください。
- AC アダプターケーブルを先の尖った物の上に這わせたり、家具の間に挟まらないようにしてください。

**重要：**ここに記載されているインサーター機能およびオプションの一部は、お使いのインサーターではご利用いただけない場合があります。



# 1・システムの概要

## 目次

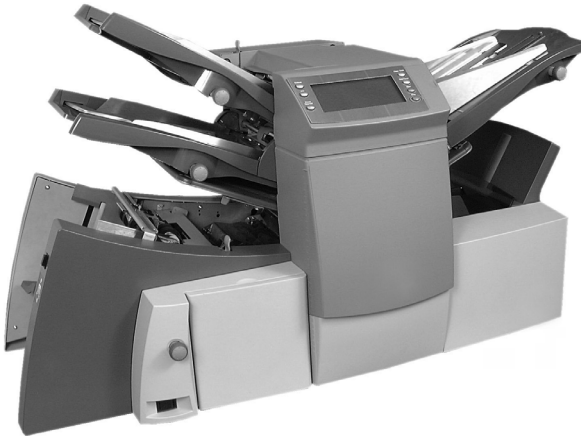
Relay 3000 インサーターの概要 .....	1-3
製品の機能 .....	1-3
Relay 3000 インサーター（コントロールパネル付き） - 各部の名称 .....	1-4
コントロールパネル .....	1-6
コントロールパネルのアイコン .....	1-8
表示言語の変更 .....	1-10

このページは意図的に空白になっています。

## Relay 3000 インサーターの概要

- Relay 3000 は 3 つのステーションがあるインサーターで、2 つのシートフィーダーと 1 つのインサートフィーダーで構成されています。
- ジョブはマシン上で登録し、コントロール画面から実行します。
- オプションで OMR（光学的マーク認識）スキャナを使用可能です。

## 製品の機能

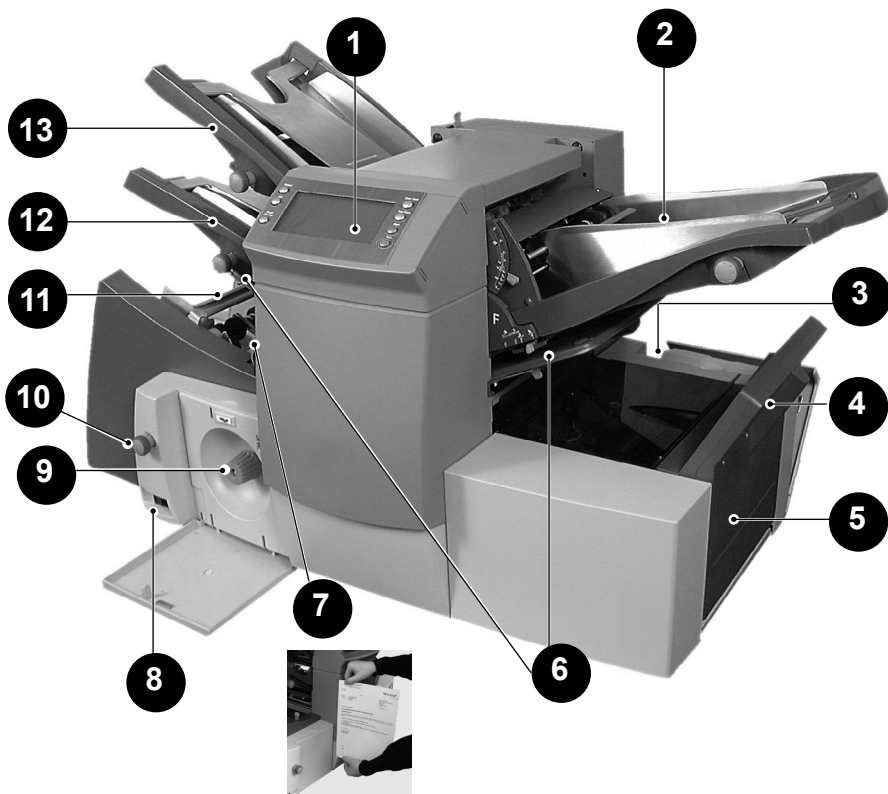


Relay 3000 インサーターには、次の機能が用意されています。

- 封筒の封かんオプション（封かんする／しないを選択）
- シートフィーダーによる用紙の自動さばき
- 紙折りプレートの自動設定
- 封筒の自動さばき
- 二重送り文書の自動検知（選択した場合）
- 紙折りのみ機能（紙折り機として使用可能）
- 1 枚および複数枚の手差しフィード、半自動封入
- 二つ折り、内三つ折り、外三つ折り、四つ折りの各オプション
- ジョブ取り消し機能
- リンク・フィード
- 光学的マーク認識（OMR）スキャン

# 1・システムの概要

## Relay 3000 インサーター（コントロールパネル付き） - 各部の名称



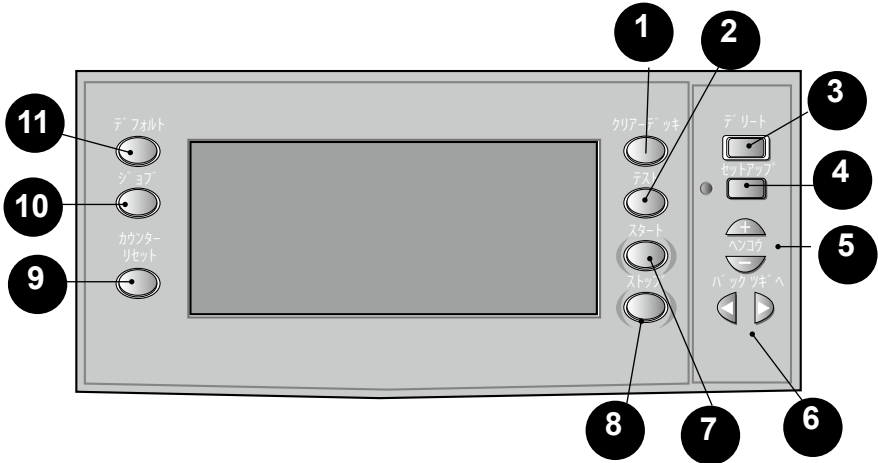
1	ディスプレイ/コントロールパネル - このパネルにコマンドを入力します。また、このパネルには、マシンの設定状況が記号やアイコンで表示されます。
2	インサートフィーダー - このフィーダーを使用して、封筒に封入物を追加します。このフィーダーからフィードした用紙を折ることはできません。このフィーダーは、折り済みまたは厚手の封入物のフィードを行います
3	封かん水ボトル - 封かん水ボトルは、マシンの後方右側にあります。このボトルはヒンジ付きカバーの下にあります。封かん水ボトルには、シーラーに供給する封かん水が入っています。

4	封筒インパーター - 表面を上にして封筒をスタッカーに排出します。
5	ドロップスタッカーまたは排紙装置（図はありません） - インパーターの出口側にあり、完成した郵便物を収積します。この装置は、使用していないときには置むことができます。また、標準のドロップスタッカーよりも容量が大きいパワースタッカーも取り扱っています。
6	紙折りプレート1および2 - シートフィーダーからフィードされた用紙を目的に合わせて折ることができます。紙折りプレートは、コントロールパネルで設定した折り形状/寸法に自動的に設定されます。
7	スケール - スケールは、マシンの左側のシートフィーダー付近にあります。このスケールを使用して、用紙や封筒を計測できます。
8	電源スイッチ - マシンの電源をオンまたはオフにします。
9	手動クランク - このつまみは、マシン左側の前面下にあるカバー内にあります。これを使用してマシンの中につっかかった用紙を取り除きます。
10	サイドガイドの調整つまみ - このつまみを使用して、サイドガイドを封筒フィーダーに合わせて調整します。
11	封筒フィーダー - 封入エリアに封筒をフィードします。封入エリアでは、他のフィーダーから送られた用紙が封筒に封入されます。
12	シートフィーダー2 - 紙折りが必要な用紙をフィードします。このフィーダーの機能はシートフィーダー1の機能と同様です。ただし、このフィーダーでは、手差しフィードは使用できません。
13	シートフィーダー1 - このフィーダーは、紙折りが必要な用紙をフィードする場合に使用します。 また、シートフィーダー1を手差しフィードに設定できます。このモードでは、最大5枚のホチキス留めされた用紙を処理できます。マシンは、各セットがシートフィーダー1に手差しでフィードされてから、紙折りや封入を自動的に行います。

# 1・システムの概要

## コントロールパネル

マシンのコントロールパネルにあるボタンを使用して、ジョブの設定や実行を行います。表示画面には、マシンのステータスが表示されます。




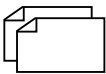



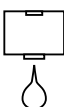
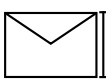


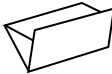


1	【クリアデッキ】 - マシン内部から用紙を排出します。また、動作が停止した際にこのボタンを押すと、マシンから用紙が取り除かれ、自動運転が可能になります。
2	【テスト】 - マシンの設定を確認するために、テストを1回実行します。【スタート】ボタンを使用して自動運転を開始する前に、テストを実行する必要があります。二重検知を使用する場合は、テストを実行するように、マシンが自動的に設定されます。テストの封筒は封かんされず、1つのアイテムとしてカウントされます。
3	【デリート】 - セットアップモード中に押すと、ジョブがメモリから削除されます。
4	【セットアップ】 - セットアップモードに入ります。このモードでは、ジョブを設定できます。設定されたジョブは、【ジョブ】ボタンを使用して、簡単に呼び出せます。
5	【ハンコウ】 +- - セットアップモードでこのボタンを押すと、オプションを選択したり、マシンの設定値を設定したりできます。

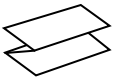
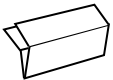
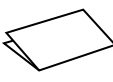
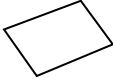


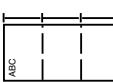
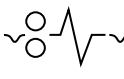
<b>6</b>	<p><b>[バック]</b> ◀ および ▶ <b>[ツギへ]</b> - セットアップモードで様々な設定オプションを選択するときに、前に戻ったり次に進む時に使用します。</p>
<b>7</b>	<p><b>[スタート]</b> - 自動運転が開始されます。</p>
<b>8</b>	<p><b>[ストップ]</b> - 次の処理終了後に、自動運転を停止します。</p>
<b>9</b>	<p><b>[カウンターリセット]</b> - アイテムのカウンターまたはバッチカウンターがリセットされます。</p>
<b>10</b>	<p><b>[ジョブ]</b> - マシンに設定されたジョブをスクロールできます。本機では、最大 20 個のジョブを設定することができます。</p>
<b>11</b>	<p><b>[デフォルト]</b> - マシンの設定がデフォルト設定または標準設定に戻ります。これらの設定は、工場出荷時に事前設定されています。ピツニーボウズのカスタマーサービスは、この設定を変更することができます。</p>

# 1・システムの概要

## コントロールパネルのアイコン

	シートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が <b>実行されない</b> ことを示します。
	シートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が <b>実行される</b> ことを示します。
	インサートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が <b>実行されない</b> ことを示します。
	インサートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が <b>実行される</b> ことを示します。
	シートフィーダー1で使用され、フィーダーが手差しフィード用に設定されていることを示します。
	封筒フィーダーが稼働できる状態であることを示します。
	封筒ストップの設定（1～5）を示します。
	封かんボトルに水を補充する必要があることを示します。
	封筒の深さ寸法を示します。
	シーラーユニットがオフであること（封筒は封かんされません）を示します。
	シーラーユニットがオンであること（封筒は自動的に封かんされます）を示します。
	内三つ折りが選択されていることを示します。



	<p>外三つ折りが選択されていることを示します。</p>
	<p>四つ折りが選択されていることを示します。</p>
	<p>二つ折りが選択されていることを示します。</p>
	<p>折りなしの封入操作を示します。</p>
	<p>用紙詰まりがあることを示します。ディスプレイ上のこの記号の位置は、用紙詰まりが発生している場所を示しています。</p>
	<p>このアイコンが表示された場合は、機器の販売元にお問い合わせください。</p>
	<p>シートフィーダーに設定されている用紙サイズ、挿入する用紙の向き、および折り方を示します。</p>
	<p>パワースタッカーや郵便料金計器などの後処理工程で用紙詰まりが発生していることを示します。</p>

# 1・システムの概要

---

## 表示言語の変更

コントロールパネルに表示される言語を変更するには、次の手順に従います。

1. セットアップボタンにアクセスする為に、コントロールパネルの右側にあるカバーを開きます。
2. **【セットアップ】** を押します。アクセスコードの入力画面が表示されます。
3. **【ヘンコウ】**（+/-）を押して、アクセスコードを「**99**」に設定します。
4. **【ツギへ】**（▶）を押して、言語オプションを選択します。
5. **【ヘンコウ】**（+/-）を押して、使用可能な言語をスクロールします。
6. 目的の言語が表示されたら、**【セットアップ】** を押して言語を選択し、セットアップモードを終了します。

# 2・ジョブの設定

## 目次

コントロールパネルを使用したナビゲーション...	2-3
スキャンジョブ（OMR）と非スキャンジョブ	2-4
ジョブの設定 .....	2-5
セットアップモード .....	2-5
ジョブ番号（新しいジョブまたは 既存のジョブ）の選択 .....	2-5
スキャンジョブ（OMR）の設定 .....	2-6
非スキャンジョブの設定 .....	2-14
既存のジョブの変更 .....	2-23
ジョブの削除 .....	2-23

このページは意図的に空白になっています。

このセクションでは、コントロールパネルを使用して新しいスキャンジョブ（OMR）または非スキャンジョブを設定し、保存する手順について説明します。

### コントロールパネルを使用したナビゲーション

セットアップボタンを使用して、ジョブの設定を行います。設定状況を確認できるように、コントロールパネルでは設定中のエリアの横にアスタリスク（\*）が点滅します。

- セットアップボタンにアクセスするには、表示画面の右側にあるカバーを開きます。
- **【バック】**（◀）および**【ツギへ】**（▶）ボタンを使用して、指定可能な設定をスクロールします。
- 目的の設定が表示されたら、**【ヘンコウ】**（+/-）ボタンを使用して、その設定のオプションを選択するか値を設定します。

## 2・ジョブの設定

### スキャンジョブ（OMR）と非スキャンジョブ

オペレーターは、ジョブのタイプに応じて、スキャン（OMR）のオンとオフを切り替えることができます。

次の表を参照してジョブのタイプに適用される手順を確認し、このセクションに示されている手順に従ってください。

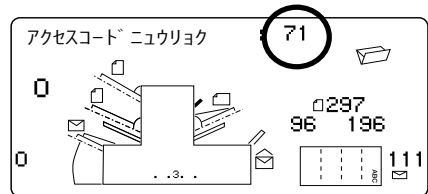
#### スキャンジョブ（OMR）と非スキャンジョブの実行手順

スキャンジョブ（OMR）	非スキャンジョブ
スキャンを有効化する（OMR オンまたはオフ）	インサーターで実行可能な場合は、スキャンを無効化する（OMR オフ）
折りタイプを設定する	折りタイプを設定する
メイン（スキャン）シートフィーダーを設定する	名寄せを設定する
セレクトフィード／セカンドシートフィーダーまたはインサートフィーダーを設定する	第1／メインシートフィーダーを設定する
シーラーを設定する	第2／セカンドシートフィーダーを設定する
用紙の長さを設定する	インサートフィーダーを設定する
折りA／折りBの位置を設定する	モードタイプ（封入または紙折り）を設定する
封筒の高さを設定する	シーラーを設定する
封筒ストップ位置を設定する	用紙の長さを設定する
バッチカウンターを設定する	折りA／折りBの位置を設定する
ジョブ設定を確認する	封筒の高さを設定する
テストを実行する	封筒ストップ位置を設定する
	バッチカウンターを設定する
	ジョブ設定を確認する
	テストを実行する

## ジョブの設定

### セットアップモード

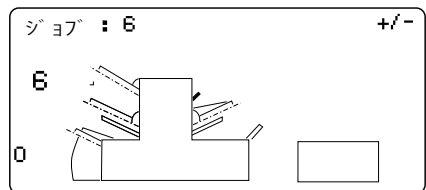
1. セットアップボタンにアクセスするには、ディスプレイの右側にあるカバーを開きます。
2. **【セットアップ】** を押します。アクセスコードの入力画面が表示されます。（このコードを使用することで、許可のないユーザーがインサーターの設定を変更することを回避できます）。
3. **【ヘンコウ】**（+/-）を押して、アクセスコードを **71** に設定します。
4. **【ツギへ】**（▶）を押し、次のジョブの設定に進みます。



### ジョブ番号（新しいジョブまたは既存のジョブ）の選択

ジョブ番号の入力を求められたら、次の手順に従ってジョブを選択するか作成します。既存のジョブを選択して現在の設定を上書きしたり、未使用のジョブを選択して新しい設定をプログラミングしたりできます。

1. **【ヘンコウ】**（+/-）を押して、目的のジョブ番号が見つかるまでスクロールします。未使用のジョブを特定するには、画面に設定記号が表示されなくなるまで、ジョブをスクロールします。
2. **【ツギへ】**（▶）を押してジョブ番号を確定し、次の設定に進みます。



注：既存のジョブ番号を使用する場合、追加した新しい設定が古い設定を上書きされます。

## 2・ジョブの設定

### スキャンジョブ (OMR) の設定

#### OMR スキャンの有効化

1. 要求メッセージが表示されたら、[ヘンコウ] (+/-) を押し、いずれかの [OMR オン] 設定を選択します。このセクションの「OMR 設定」の表を参照してください。
2. [ツギへ] (▶) を押して選択内容を確定し、次の設定に進みます。

#### OMR スキャン設定に関する表

スキャンジョブに適用する OMR 機能を使用します。

#### OMR 設定

OMR 設定	説明
OMR オフ	このジョブでは、OMR スキャンをオフにします。
OMR オン	このジョブでは、標準 OMR マーク位置で、OMR スキャンが有効になります。
OMR + シーケンス	このジョブでは、標準 OMR マーク位置で、OMR スキャンとラップアラウンドシーケンススキャンが有効になります。
OMR + セレクトフィード	このジョブでは、標準 OMR マーク位置で、OMR スキャンとセレクトフィード/オートバッチを実行します。
OMR + セレクトフィード + シーケンス	このジョブでは、標準 OMR マーク位置で、OMR スキャン、セレクトフィード/オートバッチ、およびラップアラウンドシーケンススキャンが有効になります。
OMR オフセットオン	このジョブでは、オフセット OMR マーク位置で、OMR スキャンをオンにします。
OMR オフセット + シーケンス	このジョブでは、オフセット OMR マーク位置で、OMR スキャンとラップアラウンドシーケンススキャンが有効になります。
OMR オフセット + セレクトフィード	このジョブでは、オフセット OMR マーク位置で、OMR スキャンとセレクトフィード/オートバッチが有効になります。
OMR オフセット + SF + シーケンス	このジョブでは、オフセット OMR マーク位置で、OMR スキャン、セレクトフィード/オートバッチ、およびラップアラウンドシーケンススキャンを実行します。



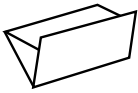
注：使用可能なオプションは、お使いのインサーターのスキャン機能によって異なります。

### 折りタイプの設定

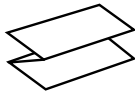
1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、折りタイプをスクロールします。
2. [ツギへ] (▶) を押して折りタイプの選択内容を確定し、次の設定に進みます。

### 折りタイプ

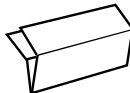
内三つ折り



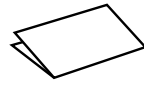
外三つ折り



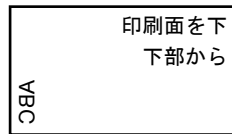
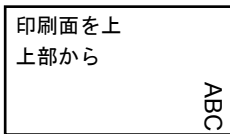
四つ折り



二つ折り



折りタイプを選択すると、用紙をフィーダーにセットする際の正しい方向がディスプレイで示されます。





## 2・ジョブの設定

---

### メイン（スキャン）シートフィーダーの設定

1. [ヘンコウ]（+/-）を押して、オプションをスクロールします。
2. [ツギへ]（▶）を押してオプションを確定し、次の設定に進みませず。





#### メインシートフィーダー1のオプション（スキャンジョブ）

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。（同時に2枚以上のシートがフィードされると停止します。）
	オン	二重検知器が動作しない状態で、フィーダーをオンにします。

**セレクト/セカンドシートフィーダーまたはインサートフィーダーの設定**  
セレクトフィードを使用すると、封筒毎にどちらかのフィーダーから1枚ずつ選択してフィードすることができます。

1. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、オプションをスクロールします。  
詳細については、「フィーダーの追加オプション（スキャンジョブ）」の表を参照してください。
2. 【ツギへ】（▶）を押して選択内容を確定し、次の設定に進みます。

フィーダーの追加オプション（スキャンジョブ）

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。（同時に2枚以上のシートがフィードされると停止します。）
	SF 二重検知オン （二つ折りまたはZ折りの場合は表示されません）	二重検知器が動作した状態で、セレクトフィードをオンにします。（同時に2枚以上のシートがフィードされると停止します。）
	SF オン （二つ折りまたはZ折りの場合は表示されません）	二重検知器が動作しない状態で、セレクトフィードをオンにします。
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。
	オン（二つ折りまたはZ折りの場合は表示されません）	二重検知器またはセレクトフィードが動作しない状態で、フィーダーをオンにします。

スキャンフィーダーの設定：

- ・ シートフィーダー1がメイン/スキャンフィーダーに設定されている場合 - シートフィーダー2を使用したり、通常のフィード（封筒毎に1枚のシート）またはセレクトフィード用にインサートフィーダーを使用したりできます。
- ・ シートフィーダー2がメイン/スキャンフィーダーに設定されている場合 - シートフィーダー1を使用したり、通常のフィード（封筒毎に1枚のシート）またはセレクトフィード用にインサートフィーダーを使用したりできます。



## 2・ジョブの設定

### シーラーの設定

この設定は、封入モードが選択されている場合にのみ表示されます。封筒を封かんするかどうかを選択するには、次の手順で行います。

1. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、オプションの**オン**と**オフ**を切り替えます。
2. 【ツギへ】（▶）を押して、次の設定に進みます。

#### シーラーのオプション

アイコン	オプション	説明
	オン	封筒を自動的に封かんするために、シーラーユニットがオンになります。シーラーのボトルに、E-Z シール® または水が一杯に入っていることを確認します。
	オフ	シーラーユニットがオフになります。封筒は、封かんされずに排出されます。

### 用紙の長さの設定

1. インサーターカバーの側面にあるスケールを使用して、用紙の大きさを測ります。  
- A4 用紙 - 297 mm
2. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、用紙の長さ（mm 単位で表示）をスクロールします。
3. 【ツギへ】（▶）を押して用紙の長さの値を確定し、次の設定に進みます。



### 折り A の設定

1. 最初の紙折りの位置を選択します。  
注：折りタイプと用紙の長さに対して均等折りの設定が表示されます。ほとんどの場合、この設定を変更する必要はありません。
2. 標準の紙折り設定を変更するには、目的の紙折りの位置が表示されるまで、【ヘンコウ】（+／-）を押します。記号 |——| は、設定している紙折りパネルの横に表示されます。  
注：マシンの仕様に応じて、現実的に可能な位置を自動的に行います。折り A の長さを変更すると、折り B の寸法が用紙の長さと同様に自動的に正しく変更されます。
3. 【ツギへ】（▶）を押して紙折りの値を確定し、次の設定に進みます。

### 折り B の設定

1. 2 回目の紙折りの位置を選択します。
2. 標準設定を変更するには、目的の紙折りの位置が表示されるまで、【ヘンコウ】（+／-）を押します。記号 |——| は、設定している紙折りパネルの横に表示されます。
3. 【ツギへ】（▶）を押して紙折りの値を確定し、次の設定に進みます。
  - 封入ジョブ - 引き続き、封筒の高さの設定を行います。
  - 紙折りのみのジョブ - 他に必要なジョブ設定はありません。  
「ジョブ設定の確認」にスキップしてください。

### 封筒の高さの設定

1. 前面カバーのスケールを使用して、封筒の高さを測定します。
2. 【ヘンコウ】（+／-）を押して、寸法（mm 単位で表示）をスクロールします。
3. 【ツギへ】（▶）を押して値を確定し、次の設定に進みます。

## 2・ジョブの設定

---

### 封筒ストップの設定

注：ストップ位置には1～5の5つの位置があります。通常の重量の用紙に標準の折りを加える場合、3が標準の設定になります。薄手の軽量な用紙を封入する場合は、低い数値を設定する必要があります。また、厚手の重い用紙を封入する場合は、高い数値を設定する必要があります。

1. **【ヘンコウ】**（+／-）を押して、封筒ストップ位置をスクロールします。
2. **【ツギへ】**（▶）を押して位置を確定し、次の設定に進みます。

### バッチカウンターの選択

バッチカウンターを使用して、予め決められた一定量の処理を自動的に行います。バッチ処理が完了すると、自動的に停止します。

注：バッチカウンターがオンになっていない場合、ディスプレイのカウンターは、**【カウンターリセット】**が押されるまで、処理されたアイテムの数を単純にカウントします。

1. **【スタート】**を押して、次のバッチの処理を開始します。
2. **【ヘンコウ】**（+／-）を押して、バッチモードのオンとオフを切り替えます。

注：バッチカウンターがオンになっている場合、マシンによってバッチ数量が確認されます。デフォルトは50です。ただし、**【ヘンコウ】**（+／-）を押すことで、任意の値を選択できます（最大999）。

3. **【ツギへ】**（▶）を押して、設定を確定します。

### ジョブ設定の確認

これで、ジョブ設定が完了しました。ディスプレイにはジョブの設定完了確認画面が表示されます。

1. ジョブ設定を確認します。
2. 設定が間違っている場合は、**【バック】**（◀）を押して戻り、設定を変更します。
3. **【セットアップ】**を押して、新しい設定を確定し、セットアップモードを終了します。
4. 設定の変更が完了すると、画面に新しいジョブ設定と「テストフィードシテクダサイ」というメッセージが表示されます。
5. テストを実行して、処理されたマテリアルを確認します。

注：電源を切断した場合でも、ジョブ設定は変更または削除するまでマシンに保存されます。ジョブ名を変更する場合は、このガイドの「システムの概要」の章にある「ジョブ名の変更」を参照してください。

### テストの実行

テストを実行して、ジョブ設定をテストします。

1. 用紙をセットして、[テスト] を押します。
2. テストに基づいて設定を変更する必要がある場合は、次の手順で行います。
  - a. [セットアップ] を押します。
  - b. [バック] (◀) または [ツギへ] (▶) を押して、変更する設定項目に合わせます。
  - c. [ヘンコウ] (+/-) を押して、正しい設定にします。
3. [セットアップ] を押して設定の変更を確定し、実行モードに戻ります。マシンがこのジョブを新しい設定で保存します。
4. テストをもう一度実行して、変更した設定をテストします。

注：設定を変更するたびに、テストを実行する必要があります。

### 住所が正しい位置にない - 紙折り設定の調整

テストを実行した際に、住所が正しい位置に来ない場合は、「紙折り設定の調整」を参照して紙折り設定を微調整してください。

#### 紙折り設定の調整

折りタイプ	住所の位置が低い	住所の位置が高い
内三つ折り	折り A を減らす	折り A を増やし、折り B を同じだけ増やす
外三つ折り	折り A を増やす	折り A を減らし、折り B を同じだけ増やす
二つ折り	折り A を増やす	折り A を減らす
四つ折り	折り A を減らす	折り A を増やす

紙折り位置は、5 mm ずつ調整することをお勧めします。

## 2・ジョブの設定

---

### 非スキャンジョブの設定

非スキャンジョブを設定するには、次の手順で行います。

#### OMR スキャン機能を無効にする

OMR スキャンが有効になっている場合は、[OMRオフ] に設定します。

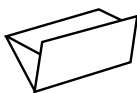
1. プロンプトが表示されたら、[ヘンコウ]（+／-）を押して[OMR オフ]を選択します。
2. [ツギへ]（▶）を押して選択内容を確定し、次の設定に進みます。

#### 折りタイプの設定

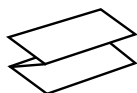
1. [ヘンコウ]（+／-）を押して、折りタイプをスクロールします。
2. [ツギへ]（▶）を押して折りタイプを確定し、次の設定に進みます。

#### 折りタイプ

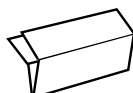
内三つ折り



外三つ折り



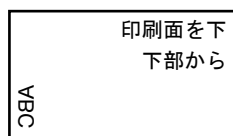
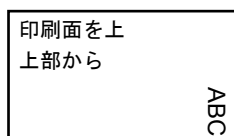
四つ折り



二つ折り



折りタイプを選択すると、用紙をフィーダーにセットする際の正しい方向がディスプレイに表示されます。





### 名寄せの設定

[名寄せ] が有効な場合、複数のシートをシートフィーダーから封筒にフィードできます。この設定は、非スキャンジョブでのみ有効です。

1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、名寄せオプションをスクロールします。
2. [名寄せ] を [オン] に設定する場合：
  - a. [ツギへ] (▶) を押して、各封筒にフィードする用紙の数を設定します。（[ナヨセ] = 2 ~ 5）
  - b. [ヘンコウ] (+/-) を押して、用紙の数を入力します。
3. [ツギへ] (▶) を押してオプションを確定し、次の設定に進みません。

### インサーターの名寄せ設定

設定	説明
[ナヨセ] : オフ	このジョブでは名寄せをオフにします。
[ナヨセ] : オン	このジョブでは名寄せをオンにします。
[ナヨセ] = (2 ~ 5)	[ナヨセ] を [オン] に設定した場合は、各封筒にフィードする用紙の数を選択します。

## 2・ジョブの設定






### 第1/メインシートフィーダーの設定

第1シートフィーダーは、折りタイプに応じて、自動的に選択されます。

- 両方のシートフィーダーを使用してシートを丁合する - 内三つ折りおよび四つ折りを指定するには、第1の（住所が記載された）文書をシートフィーダー1にセットします。外三つ折りまたは二つ折りを指定する場合は、第1の文書をシートフィーダー2にセットします。
- 1枚のシートで実行 - いずれかのシートフィーダーを使用するか、両方のシートフィーダーを使用して、リンクフィード機能を設定します。

1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、オプションをスクロールします。
2. [ツギへ] (▶) を押して選択内容を確定し、次の設定に進みます。

### 第1/メインシートフィーダーのオプション（非スキャンジョブ）

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が作動した状態で、フィーダーをオンにします。（同時に2枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します。）
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。
	オン	二重検知器が作動していない状態で、フィーダーをオンにします。
	手差しフィード （この表の後の説明を参照）	ホチキス留め等された、丁合済みセットを手動でフィードできます。シートフィーダー1でのみ可能です。
	リンク：オン	初めに、用紙は第1シートフィーダーからフィードされます。第1シートフィーダーが空になると、第2シートフィーダーからのフィードに自動的に切り替わります。
	リンク：二重検知オン	テスト時、両方のフィーダーに用紙をセットする必要があります。これは、テスト中に、各フィーダーから用紙がフィードされるためです。

### 手差しフィードオプション

- 手差しフィードを設定すると、ホチキス留め等された最大5枚のシートセット（セットあたり最大400 g/m<sup>2</sup>）を処理することができます。

紙折り後のセットの最大の厚みは、2 mm以下である必要があります。



- インサーターは、各セットがシートフィーダー 1 に手動で挿入されると、自動的に折って封入します。
- 手差しフィードモードの実行中、シートフィーダー 2 は操作できなくなります。
- 手差しフィードのオプションは、[名寄せ] が [オフ] に設定されている場合にのみ有効です。

### 第 2/セカンドシートフィーダーの設定

第 2 シートフィーダーを使用する場合は、次の設定を使用します。

1. [ヘンコウ] (+/-) を押して、オプションをスクロールします。  
「第 2/セカンドシートフィーダーのオプション（非スキャンジョブ）」の表の説明を参照してください。
2. [ツギへ] (▶) を押してオプションを確定し、次の設定に進みます。

#### 第 2/セカンドシートフィーダーのオプション（非スキャンジョブ）

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が作動した状態で、フィーダーをオンにします。（同時に 2 枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します。）
	オン	二重検知器が作動していない状態で、フィーダーをオンにします。
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。



## 2・ジョブの設定

### インサートフィーダーの設定

インサートフィーダーを使用するかどうか、またその使用方法を設定します。

1. 【ヘンコウ】（+ / -）を押して、オプションをスクロールします。「インサートフィーダーのオプション」の表の説明を参照してください。
2. 【ツギへ】（▶）を押してオプションを確定し、次の設定に進みません。

#### インサートフィーダーのオプション

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が作動した状態で、フィーダーをオンにします。（同時に2枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します。）
	オン	二重検知器が作動していない状態で、フィーダーをオンにします。
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。

### モードタイプの設定 - 封入または紙折りのみ

この設定は、名寄せがオンになっていない場合にのみ表示されます。

インサーターでは、用紙の封入が必要なジョブであるかどうか、または紙折りのみのジョブであるかどうかを指定する必要があります。

モードタイプを設定するには、次の手順に従います。



1. 【ヘンコウ】（+ / -）を押して、次のオプションを切り替えます。
  - **封入モード**  
通常の封入ジョブを実行するために、封筒フィーダーが有効になります。
  - **紙折りのみモード**  
封筒フィーダーをオフにして、インサーターが紙折り機として機能するように設定します。
2. 【ツギへ】（▶）を押してモードタイプを確定し、次の設定に進みません。

### シーラーの設定

この設定は、封入モードが選択されている場合にのみ表示されます。封筒を封かんするかどうかを選択するには、次の手順に従います。

1. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、オプションのオンとオフを切り替えます。
2. 【ツギへ】（▶）を押してオプションを確定し、次の設定に進みます。

#### シーラーのオプション

アイコン	オプション	説明
	オン	封筒を自動的に封かんするために、シーラーユニットがオンになります。シーラーのボトルに、E-Z シール® または水が一杯に入っていることを確認します。
	オフ	シーラーユニットがオフになります。封筒は、封かんされずに排出されます。

### 用紙の長さの設定

1. インサーターカバーの側面にあるスケールを使用して、用紙の大きさを測ります。  
- A4 用紙 - 297 mm
2. 【ヘンコウ】（+/-）を押して、用紙の長さ（mm 単位で表示）をスクロールします。
3. 【ツギへ】（▶）を押して用紙の長さの値を確定し、次の設定に進みます。



## 2・ジョブの設定

---

### 折り A の設定

1. 最初の紙折りのサイズを選択します。  
注：折りタイプと用紙の長さに対して均等折りの正しい寸法が提示されます。ほとんどの場合、この設定を変更する必要はありません。
2. 標準の紙折り設定を変更するには、目的の紙折りの位置が表示されるまで、【ヘンコウ】（+／-）を押します。記号 |——| は、設定している紙折りパネルの横に表示されます。  
注：インサーターの仕様に応じて、現実的に可能な位置を自動的に行います。折り A の長さを変更すると、折り B の寸法が用紙の長さでインサーターの仕様に応じて自動的に正しく変更されます。
3. 【ツギへ】（▶）を押して紙折りの値を確定し、次の設定に進みます。

### 折り B の設定

1. 2 回目の紙折りの位置を選択します。
2. 標準設定を変更するには、目的の紙折りの位置が表示されるまで、【ヘンコウ】（+／-）を押します。記号 |——| は、設定している紙折りパネルの横に表示されます。
3. 【ツギへ】（▶）を押して紙折りの値を確定し、次の設定に進みます。
  - 封入ジョブ - 引き続き、封筒の高さの設定を行います。
  - 紙折りのみのジョブ - 他に必要なジョブ設定はありません。「ジョブ設定の確認」にスキップしてください。

### 封筒の高さの設定

1. 前面カバーのスケールを使用して、封筒の高さを測定します。
2. 【ヘンコウ】（+／-）を押して、寸法（mm 単位で表示）をスクロールします。
3. 【ツギへ】（▶）を押して値を確定し、次の設定に進みます。

### 封筒ストップの設定

注：ストップ位置には1～5の5つの位置があります。通常の重量の用紙に標準の折りを加える場合、3が標準の設定になります。薄手の軽量な用紙を封入する場合は、低い数値を設定する必要があります。また、厚手の重い用紙を封入する場合は、高い数値を設定する必要があります。

1. **【ヘンコウ】**（+／-）を押して、封筒ストップ位置をスクロールします。
2. **【ツギへ】**（▶）を押して位置を確定し、次の設定に進みます。

### バッチカウンターの選択

バッチカウンターを使用して、予め決められた一定量の処理を自動的にを行います。バッチ処理が完了すると、自動的に停止します。

注：バッチカウンターがオンになっていない場合、ディスプレイのカウンターは、**【カウンターリセット】**が押されるまで、処理されたアイテムの数を単純にカウントします。

1. **【スタート】**を押して、次のバッチの処理を開始します。
2. **【ヘンコウ】**（+／-）を押して、バッチモードのオンとオフを切り替えます。

注：バッチカウンターがオンになっている場合、インサーターによってバッチ数量が確認されます。デフォルトの数量は50です。ただし、**【ヘンコウ】**（+／-）を押すことで、任意の値を選択できます（最大999）。

3. **【ツギへ】**（▶）を押して、設定を確定します。

### ジョブ設定の確認

これで、ジョブ設定が完了しました。ディスプレイにはジョブの設定完了確認画面が表示されます。

1. ジョブ設定を確認します。
2. 設定が間違っている場合は、**【バック】**（◀）押して戻り、設定を変更します。
3. **【セットアップ】**を押して、新しい設定を確定し、セットアップモードを終了します。
4. 設定の変更が完了すると、画面に新しいジョブ設定と「テストフィールドシテクダサイライ」というメッセージが表示されます。
5. テストを実行して、処理されたマテリアルを確認します。

注：電源を切断した場合でも、ジョブ設定は変更または削除するまでインサーターに保存されます。ジョブの名前を変更する必要がある場合は、このガイドの「システムの概要」の章にある「ジョブ名の変更」を参照してください。

## 2・ジョブの設定

### テストの実行

テストを実行して、ジョブ設定をテストします。

1. 用紙をセットして、[テスト] を押します。
2. テストに基づいて設定を変更する必要がある場合は、次の手順で行います。
  - a. [セットアップ] を押します。
  - b. [バック] (◀) または [ツギへ] (▶) を押して、変更する設定項目に合わせます。
  - c. [ヘンコウ] (+/-) を押して、正しい設定にします。
3. [セットアップ] を押して設定の変更を確定し、実行モードに戻ります。マシンがこのジョブを新しい設定で保存します。
4. テストをもう一度実行して、変更した設定をテストします。

注：設定を変更するたびに、テストを実行する必要があります。

### 住所が正しい位置にない - 紙折り設定の調整

テストを実行した際に住所が正しい位置にない場合は、「紙折り設定の調整」を参照して紙折り設定を微調整してください。

#### 紙折り設定の調整

折りタイプ	住所の位置が低い	住所の位置が高い
内三つ折り	折り A を減らす	折り A を増やし、折り B を同じだけ増やす
外三つ折り	折り A を増やす	折り A を減らし、折り B を同じだけ増やす
二つ折り	折り A を増やす	折り A を減らす
四つ折り	折り A を減らす	折り A を増やす

紙折り位置は、5 mm ずつ調整することをお勧めします。



### 既存ジョブの変更

既存のジョブを変更するには、次の手順に従います。

1. **【セットアップ】** を押して、セットアップモードに入ります。
2. **【ヘンコウ】**（+/-）を押し、アクセスコードを「71」にします。
3. **【ツギへ】**（▶）を押してコードを確定し、ジョブ選択に進みます。
4. **【ヘンコウ】**（+/-）を使用して、変更するジョブを表示します。
5. **【ツギへ】**（▶）を押してジョブの選択を確定し、設定に進みます。
6. **【バックへ】**（◀）および**【ツギへ】**（▶）を使用して、設定をスクロールします。
7. 目的の設定が見つかったら、**【ヘンコウ】**（+/-）を使用して、目的のオプションまたは値をスクロールします。
8. **【ツギへ】**（▶）を押して、ジョブ設定を確定します。
9. **【セットアップ】** を押して、セットアップモードを終了し、変更を保存します。

### ジョブの削除

既存のジョブをインサーターのシステムから削除するには、次の手順に従います。

1. **【セットアップ】** を押して、セットアップモードに入ります。
2. **【ヘンコウ】**（+/-）を押し、アクセスコードを「71」にします。
3. **【ツギへ】**（▶）を押してコードを確定し、ジョブ選択に進みます。
4. **【ヘンコウ】**（+/-）を押して、削除するジョブを表示します。
5. **【デリート】** を押します。ディスプレイに「モウイチドオシテクダサイ」というメッセージが表示されます。
6. もう一度**【デリート】** を押します。ジョブが消去される際に、「ジョブショウキョ」というメッセージが短く表示されます。
7. **【セットアップ】** を押して、セットアップモードを終了します。

このページは意図的に空白になっています。

# 3・ジョブの実行

## 目次

ジョブの実行.....	3-3
電源の確認.....	3-4
ジョブの選択.....	3-4
手差しフィードジョブ.....	3-5
用紙のセット.....	3-6
シートフィーダーの調整と用紙のセット.....	3-6
封筒フィーダーの調整と用紙のセット.....	3-7
インサートフィーダーの調整と用紙のセット.....	3-9
テストの実行.....	3-11
テストとリンクフィード.....	3-11
操作中の用紙変更または二重検知に関する 問題.....	3-11
処理の開始と停止.....	3-12
封かん水の充填.....	3-12
スタッカーの調整.....	3-13

このページは意図的に空白になっています。

### ジョブの実行

ここで説明する操作では、ジョブがすでに設定され、Relay 3000 インサーターに保存されていることを前提としています。

オペレーターは、コントロールパネルを使用して次の操作を実行し、ジョブを実行します。

- インサーターに電源が入っていることを確認する
- ジョブを選択する
- 用紙をセットする
  - シートフィーダーを調整して用紙をセットする
  - 封筒フィーダーを調整して用紙をセットする
  - インサートフィーダーを調整して用紙をセットする
- テストを実行する
- ジョブを実行する
- 封かん水を充填する（必要な場合）
- スタッカーを調整する（必要な場合）



**インサーターを使用する前に、このガイドの安全性に関する情報をお読みください。**

### 3・ジョブの実行

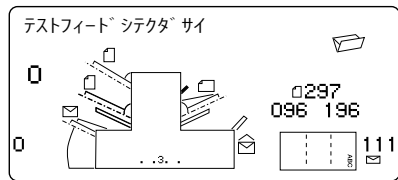
#### 電源の確認

1. 電源コードがインサーターの裏側にあるソケットに接続されていることを確認します。
2. 機械の近くにある、利用しやすいコンセントに電源コードが接続されていることを確認します。
3. 電源スイッチをオンにします。



#### ジョブの選択

機器の電源がオンになると、コントロールパネルのディスプレイに最後に実行されたジョブと「テストフィードシテクダサイ」というメッセージが表示されます。

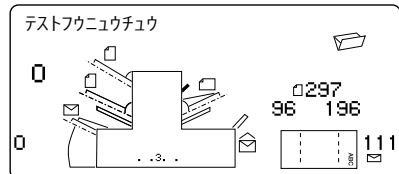


実行するジョブを選択するには、次の手順に従います。

1. 目的のジョブが表示されるまで【ジョブ】ボタンを押すか、または標準のデフォルトジョブ設定で処理する場合は【デフォルト】を押します。

注：デフォルトのジョブ設定を変更できるのは、ピツニーボウズのカスタマーサービスだけです。

2. 用紙をセットします（「用紙のセット」のセクションを参照）。
3. 用紙がすでにセットされている場合は、【テスト】を押します。インサーターが自動的に設定され、テストが実行されます。



## 手差しフィードジョブ

手差しフィードジョブを選択した場合、つまりシートフィーダー1が丁合い済みセットを手差しフィードする様に設定されている場合は、シートフィーダーには用紙をセットしないでください。この場合は、必要に応じて一度に1つの丁合済みセットをフィードします。

手差しフィードジョブを実行する前に、写真に示されているようにレバーを後ろに引きます。

こうするとフィード装置が開き、手差しフィード操作を実行できるようになります。

注：フィーダーを自動フィードで使用する場合は、このレバーを通常の位置に戻します。



### 3・ジョブの実行

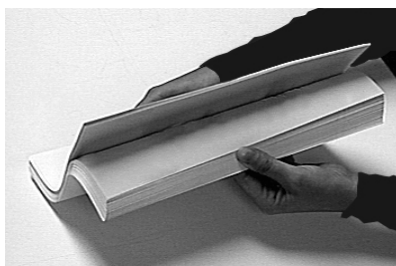
#### 用紙のセット

##### シートフィーダーの調整と用紙のセット

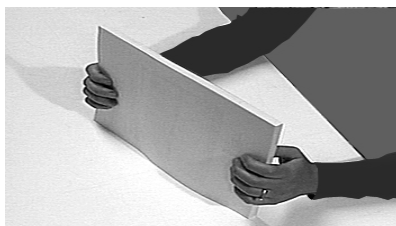
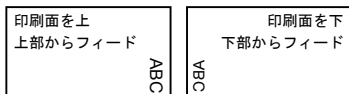
1. サイドガイドを用紙の幅に合わせて調整し、サイドガイド調整ノブを 1/4 戻します。これで、ガイドと用紙の間に適切なすき間が出来ます。



2. 各シートがくっつかないように、用紙の束をパラパラとめくり、よくさばきます。



3. 束を軽くたたいて揃えます。  
ディスプレイに、用紙の正しい方向が示されます。



4. 用紙の束をフィードデッキに置きます。デッキを押し下げて、用紙の束の上端をフィードローラーの下に滑り込ませます。





## 封筒フィーダーの調整と用紙のセット

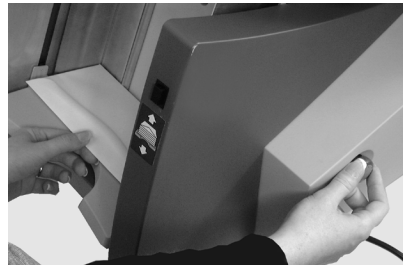
封筒フィーダーは、封入ジョブ用の封筒をフィードします。

1. フィーダートレイを下げるには、封筒フィーダーの積載スイッチを押します。

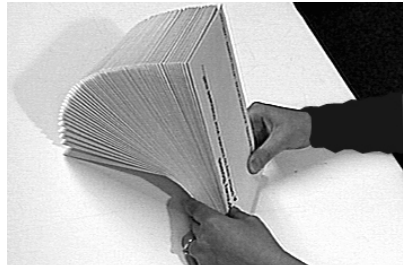


2. サイドガイド調整ノブを使用して、サイドガイドを封筒の幅に合わせて調整します。調整後、調整ノブを 1/4 戻してください。

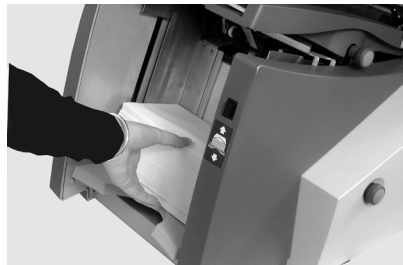
これで、ガイドと封筒の間に適切なすき間が出来ます。



3. 各封筒がくっつかないように、封筒の束をパラパラとめくってさばきます。
4. フラップ面を上にして、フラップの反対側の端からフィードするように、封筒の束をフィーダーにセットします。



5. 封筒フィーダーの積載スイッチをもう一度押して、封筒の束を通常のフィード位置に押し上げます。



### 3・ジョブの実行

---

#### インサーターを停止しないで封筒をセットする

1. 封筒フィーダーの積載スイッチを押すと、フィードトレイが下がります。
2. このセクションの前にある説明に従って、封筒をセットします。
3. 封筒フィーダーの積載スイッチをもう一度押します。



封筒の束が通常のフィード位置に押し上げられ、処理が自動的に続行されます。

## インサートフィーダーの調整と用紙のセット

インサートフィーダーは、折りを必要としないアイテムをフィードします。

1. サイドガイドの調整ノブを使用して、サイドガイドを封入物の幅に合わせて調整します。調整後、調整ノブを 1/4 戻してください。

これで、ガイドと封入物の間に適切なすき間が出来ます。



2. インサートフィーダーにあるラベルを確認して、封入物の種類（ペラもの、返信用封筒、折り済みのマテリアル、または小冊子）をアイコンとカラーインジケーターに合わせます。

### 封入物の識別

ラベルに各種の設定が記載されている場合は、厚手の封入物にはより高い数値とアルファベットを選択することをお勧めします。

3. 青いセパレーターギャップレバーを該当する番号に設定します。

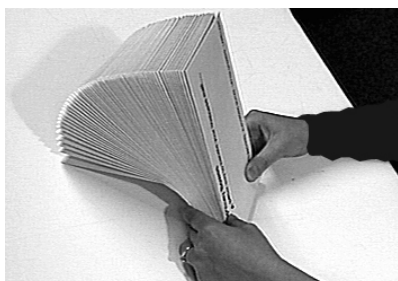


4. セパレーターシールドレバーを該当するアルファベットに設定します。



### 3・ジョブの実行

5. 封入物同士がくっつかないように、封入物の束をパラパラとめくってさばきます。



6. 封入物を重ねて、フィードデッキに置きます（写真を参照）。  
セットの方向は、封入物によって異なります。原則として、次の表の方向ガイドラインを目安に封入物をセットします。



7. ウェッジ（用紙の支え）を下にスライドさせながら下げて、封入物を支えます。



#### 「封入物セット時の方向」

封入物の種類	方向
ペラもの	印刷面を上、下端から入れる
返信用封筒	印刷面を上、上端から入れる
折り済みのマテリアル	印刷面を上、折り端から入れる
小冊子	印刷面を上、綴じ端から入れる

### テストの実行

テストを実行して、正しく設定されているか確認します。

1. 用紙をセットして、コントロールパネルの【テスト】ボタンを押してテストを実行し、ジョブ設定が正しいことを確認します。
2. テストで微調整が必要な場合は、この段階でジョブ設定を変更できません。
  - a. 【セットアップ】を押します。
  - b. アクセスコード「71」でログインします。
  - c. 【バック】（◀）、【ツギへ】（▶）、および【ヘンコウ】（+ / -）の各ボタンを使用して設定をスクロールし、目的の設定を変更します。
3. 必要な変更を加えたら、【セットアップ】をもう一度押して実行モードに戻ります。
4. テストをもう一度実行して、変更した設定を確認します。

### テストとリンクフィード

- リンクフィードを使用している場合は、テストを実行する前に、両方のシートフィーダーに用紙をセットします。
- リンクフィードが有効になっている場合、両方のシードフィーダーから1枚ずつフィードして2通の封書が作成されます。
- 実行時、ディスプレイには次のように表示されます：1>2>1  
これにより、フィーダー間でフィードが自動的に切り替わります。

### 操作中の用紙変更または二重検知に関する問題

ジョブの実行中に異なる特性（重量、色合いなど）を持つ用紙をセットする場合、または二重検知に問題が発生した場合は、再度テストをします。

テストにより、二重検知機能が新しい用紙に合わせて再調整されます。

### 3・ジョブの実行

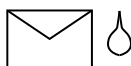
---

#### 処理の開始と停止

1. コントロールパネルの【スタート】を押して、自動処理を開始します。
2. マシンは、いずれかのフィーダーの用紙がなくなるまで、または【ストップ】を押すまで処理を続けます。

#### 封かん水の充填

シーラーユニットの充填が必要になると、ディスプレイに【封かん水の補充】アイコンが点滅します。



この場合は、次の手順に従って、E-Z シール® または水を追加します。

1. マシンの後方右側にあるシーラーボトルのカバーを開き、ボトルを取り出します。
2. ボトルに示されているレベルまで、封かん水または水を補充します。
3. シーラーボトルを元の位置に取り付け、カバーを閉じます。



注：シーラーユニットが完全に空になった場合、新しい封かん水または水がシーラーに染み込み、操作を再開できるようになるまでには時間がかかります。

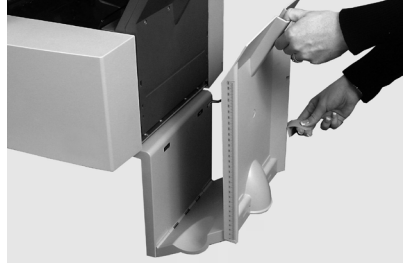
注：水垢の発生を最小限に抑えるため、ピツニーボウズの E-Z シールを使用することをお勧めします。

### スタッカーの調整

処理するマテリアルに合わせてドロップスタッカーを調整できます。

1. スタッカーの後方にあるレバーを持ち上げ、スタッカーの位置を合わせます。
2. レバーを下げ、スタッカーをその位置にロックします。

注：使用しないときは、スタッカーを持ち上げて、マシンの排出部にラッチで留めておくことができます。



このページは意図的に空白になっています。



# 4・OMR スキャン

## 目次

光学的マーク認識 (OMR) .....	4-3
正確性 .....	4-3
OMR とフィーダー .....	4-3
OMR スキャンのタイプ .....	4-4
基本 OMR .....	4-4
拡張 OMR .....	4-4
OMR のマーク位置 .....	4-4
OMR の仕様 .....	4-5
標準の OMR 位置 .....	4-6
オフセットの OMR 位置 .....	4-7
使用可能な OMR マーク .....	4-8
ベンチマーク .....	4-8
セーフティ .....	4-8
名寄せの終了 (EOC) .....	4-8
名寄せの開始 (BOC) .....	4-8
パリティ .....	4-8
リタイミングマーク .....	4-8
選択フィード (SF1、SF2) .....	4-9
オートバッチ .....	4-9
ラップアラウンドシーケンス (WAS1、WAS2、WAS3) .....	4-9
OMR マークのグループ .....	4-10
内三つ折りジョブおよび四つ折りジョブ .....	4-10
外三つ折りジョブおよび二つ折りジョブ .....	4-11
OMR スキャナーの調整 .....	4-12
OMR のトラブルシューティング .....	4-14
OMR ジョブのエラーリカバリー .....	4-14
名寄せジョブのエラーリカバリー .....	4-14
フィーダーが空の場合のエラーリカバリー .....	4-14
OMR のエラーメッセージ .....	4-15

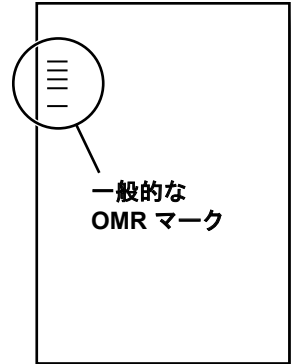
このページは意図的に空白になっています。

## 光学的マーク認識 (OMR)

OMR マークとは通常、用紙が搬送される向きに、淡色の用紙に印刷される濃い色の実線です。この線には、OMR スキャナーが正しく作動するための太さと濃さが必要になります。

OMR スキャナーは OMR システムソフトウェアと連携して動作し、用紙が搬送される際に、用紙にある 1 つ以上の異なる OMR マークを確認します。これらのマークをトラッキングし、郵便物の整合性を高めます。

注：OMR ジョブの設定手順については、本書の「ジョブの設定」セクションを参照してください。



## 正確性

本システムの OMR は、高いレベルのエラー確認機能を使用可能です。この機能により、封筒に誤ったシートセットが封入される可能性が低くなるため、封入の正確性が大幅に向上します。

## OMR とフィーダー

マシンには、各シートフィーダーにスキャンヘッドがあります。

シートフィーダーの 1 つには、OMR マークが印刷されたシートがセットされます。シートフィーダーから、1 枚の封筒あたり複数のシートをフィード可能です。

- シートフィーダー 1 は 内三つ折りおよび 四つ折り用
- シートフィーダー 2 は 外三つ折りおよび 二つ折り用

OMRにより、1 つのシートフィーダーから異なる枚数をフィード、更にもう一つのシートフィーダーとインサートフィーダーから用紙をフィードする／しないの選択が可能です。

インサートフィーダーから入れる封入物は、最初のシートに挟まれて封入されます。OMR の適用により、それぞれの封筒に異なる内容物を入れることができるため、封筒内の最後のシートには、窓付き封筒で使用する場合、住所情報が含まれます。これにより、それぞれのシートセットが正しく宛先に届くようになります。

## 4・OMR スキャン

---

### OMR スキャンのタイプ

#### 基本 OMR

- 複数ページの丁合が可能になります。
- それぞれの封筒に異なる枚数の用紙を入れることができます。
- マシンはセットの最後のシートから始めて、宛先シートが封入されるまで、各OMR シートを個別に重ねて封筒に封入します。

#### 拡張 OMR

- 実行中のシートのフィードを設定した位置で停止したり、その他のフィーダーを使用するかどうかを選択したりできます。
- より高レベルな郵便物の整合性が実現されるため、機密文書が誤った顧客に郵送されることがありません。

#### OMR のマーク位置

スキャナーが印刷された OMR マークを正しく読み取るために、マークはページ上の定義された範囲内に印刷する必要があります。

- **標準**の OMR 位置は、4-6ページに記載されています。
- **オフセット** OMR マークはページのさらに下に配置できます。4-7ページに記載されています。

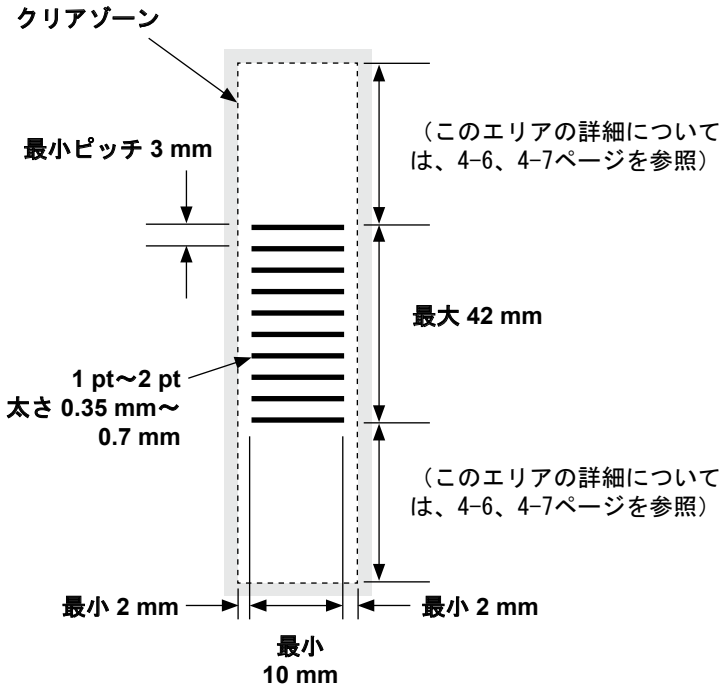
## OMR の仕様

OMR マークは、太さが 1~2 pt (0.35 mm~0.7 mm)、幅が最低でも 10 mmの黒の実線でなければなりません。

各マークの位置は、3 mm以上の等間隔である必要があります。

マーク周辺の領域（クリアゾーン）には、誤ってスキャナーで読み取られる可能性のある印刷やその他のマークなどが無いようにしてください。

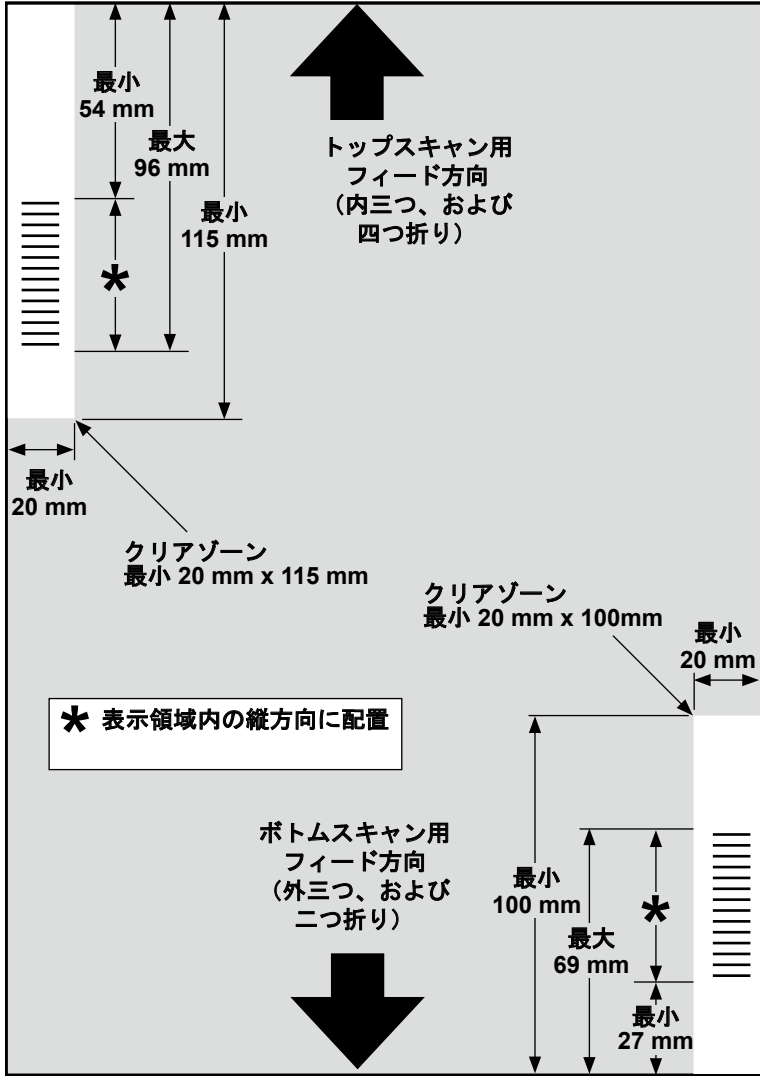
シートのクリアゾーンの真裏には、何も印刷しないようにしてください。



(注：図の縮尺は正確ではありません)

## 4・OMR スキャン

### 標準の OMR 位置

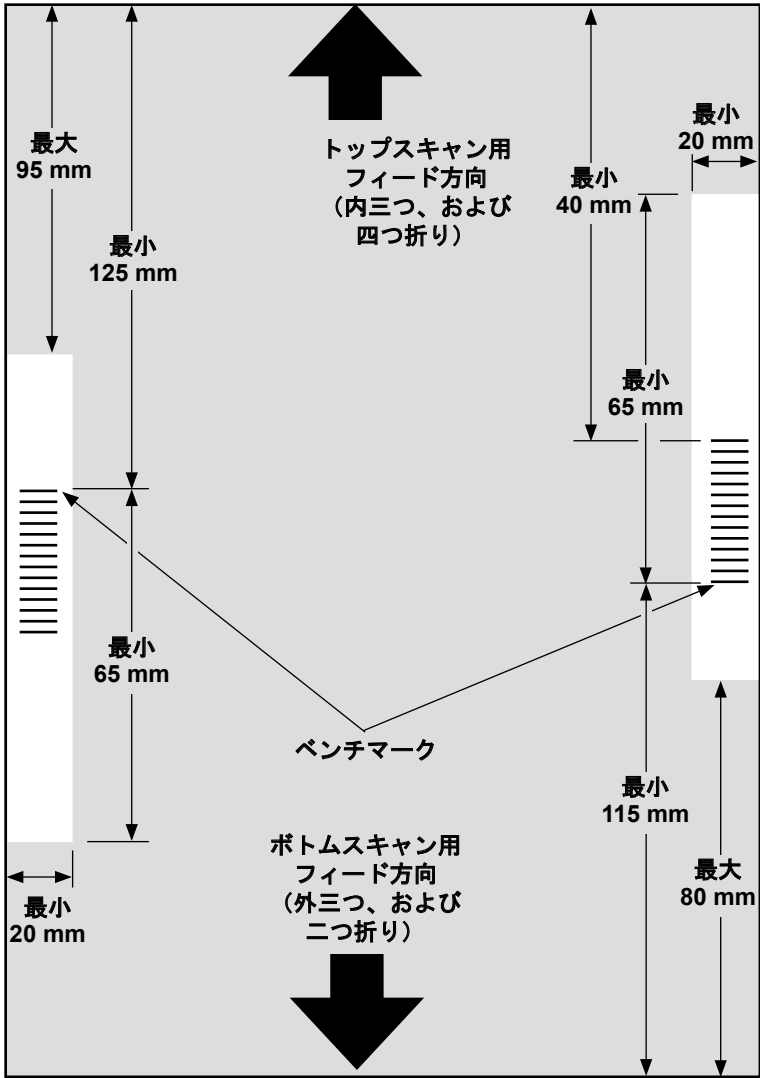


OMR マークの位置は以下のように決めます。

- ・ 内三つ折りおよび 四つ折り：トップスキャン、左上隅
- ・ 外三つ折りおよび 二つ折り：ボトムスキャン、右下隅

(図は原寸ではありません)

オフセットの OMR 位置



OMR マークの位置は以下のように決めます。

- ・ 内三つ折りおよび 四つ折り：トップスキャン、左余白
- ・ 外三つ折りおよび 二つ折り：ボトムスキャン、右余白

(図は原寸ではありません)

## 4・OMR スキャン

---

### 使用可能な OMR マーク

このセクションでは、OMR コードに割り当て可能または割り当てが必要な OMR マークを簡単に説明します。

注：このセクションに含まれるマークの一部は、OMR機能を拡張する追加機能として使用できます。詳細は販売店にお問い合わせください。

### ベンチマーク

これは必須のマークです。これはコードの最初のマークである必要があり、セット内のすべてのページに印刷されます。

### セーフティ

これは、郵便物の整合性を向上させる必須のマークです。ベンチマークの直後に自動的に配置されます。

### 名寄せの終了 (EOC)

このマークは、このシートが丁合またはセット内でフィードされる最後のシート（住所シート）であることを示します。

システムはこのマークが存在しない場合に動作します。つまり、このマークがスキャナーで読み取られない場合動作します。したがって、OMR コードは「Not EOC」です。

### 名寄せの開始 (BOC)

このマークは、このシートが丁合またはセット内でフィードされる最初のシートであることを示します。

システムはこのマークが存在しない場合に動作します。つまり、このマークがスキャナーで読み取られない場合に動作します。したがって、OMR コードは「Not BOC」です。

### パリティ

このマークは、印刷されると必ずマークの合計数が偶数になるセキュリティ機能です。スキャン中にコード内のマークのどれか一つ失われると、マシンは機能を停止して、エラーを修正できるようにします。

### リタイミングマーク

このマークは、OMR マークの各グループにおいて必須で、コードを構成します。（OMR マークのグループ化の説明については、このセクションの後半を参照してください）。

これにより、正確にスキャンするように再調整できます。リタイミングマークはパリティ計算でカウントされます。



## 選択フィード (SF1、SF2)

これらのマークは、補助シートまたは封入物がセットされているフィーダー（インサートフィーダー）からの用紙のフィードをセットごとに制御するために使用されます。

補助シートフィーダーから用紙を選択するには、**【選択フィード 1】** マークを使用します。内三つおよび 四つ折りの場合、メインフィーダーはシートフィーダー 1 です。外三つおよび 二つ折りの場合、メインフィーダーはシートフィーダー 2 です。

インサートフィーダーから用紙を選択するには、1 次フィーダーの **【選択フィード 2】** マークを使用します。内三つおよび 四つ折りの場合、メインフィーダーはシートフィーダー 1 です。外三つおよび 二つ折りの場合、メインフィーダーはシートフィーダー 2 です。

## オートバッチ

このマークは、バッチ機能を使用中に最後のバッチセットを識別します。このマークは、本機能が必要な OMR セットのすべてのシートに印刷される必要があります。

## ラップアラウンドシーケンス (WAS1、WAS2、WAS3)

これは番号付けシステムで、一連のバイナリコードを使用します。必要なページが含まれていなかったり、郵便物セット内の用紙の順序が乱れている場合、システムは処理を停止し、エラーメッセージを表示します。

3つのラップアラウンドシーケンスマークが、コード内で使用されます。3つの 2 進数の使用により、0~7 で表記されます。ページには0~7 の番号が順に振られ、再び0に戻ります。印刷処理が行われている間は、これが繰り返されます。

## 4・OMR スキャン

### OMR マークのグループ

それぞれの OMR コードは、2 つの固定マークである、ベンチマークおよびセーフティマークで始まります。これらのマークはセンサーに最も近い位置に配置されています。これらの後にグループ 1、2、または 3 のマークが続き、それぞれのグループは 3 つのデータマークと 1 つの固定マークで構成されます。それぞれのデータマークは必要に応じて付いていたり、付いていなかったりします。それぞれのコードは、リタイミングマークで終わる必要があります。

**基本 OMR モード**は、グループ 1 のみを使用します。**拡張 OMR モード**は、特定のジョブの必要に応じてグループ 1 とグループ 2 やグループ 3 を使用します。

### 内三つ折りジョブおよび 四つ折りジョブ

シートの左上隅にマークを配置します。マークは上から下の順番で印刷される必要があります。



フィード方向

グループ 1 (必須)	——	ベンチマーク (固定)
	——	セーフティ (固定)
	——	EOC なし
	——	BOC なし
	——	パリティ
グループ 2	——	リタイミング (固定)
	——	選択フィード 1
	——	選択フィード 2
	——	オートバッチ
グループ 3	——	リタイミング (このグループ使用時は、固定)
	——	ラップアラウンドシーケンス 3 (WAS3)
	——	ラップアラウンドシーケンス 2 (WAS2)
	——	ラップアラウンドシーケンス 1 (WAS1)
	——	リタイミング (このグループ使用時は、固定)

### 印刷

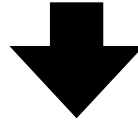
シートは丁合いの逆順に印刷される必要があります。このため、それぞれのセットで処理される最後のシートが住所シートとなり、最初に処理されるシートが、それぞれのセットの最後のシートとなります。

### 外三つ折りジョブおよび二つ折りジョブ

シートの右下隅にマークを配置します。マークは下から上の順番で印刷される必要があります。

グループ 3	——	リタイミング (このグループ使用時は、固定)
	——	ラップアラウンドシーケンス 1 (WAS1)
	——	ラップアラウンドシーケンス 2 (WAS2)
	——	ラップアラウンドシーケンス 3 (WAS3)
グループ 2	——	リタイミング (このグループ使用時は、固定)
	——	オートバッチ
	——	選択フィード 2
	——	選択フィード 1
グループ 1 (必須)	——	リタイミング (固定)
	——	パリティ
	——	BOC なし
	——	EOC なし
	——	セーフティ (固定)
	——	ベンチマーク (固定)

フィード方向



### 印刷

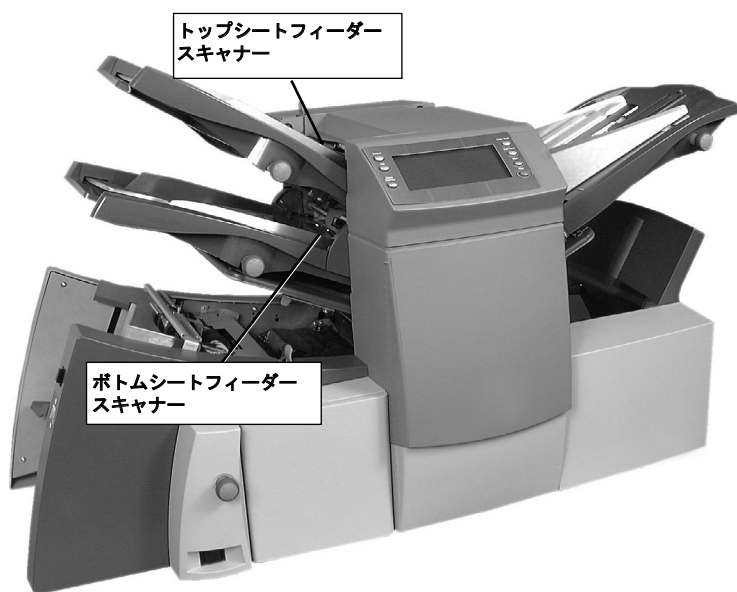
シートは丁合いの順に印刷される必要があります。このため、それぞれのセットで処理される最初のシートが住所シートとなり、最後に処理されるシートが、それぞれのセットの最後のシートとなります。

## 4・OMR スキャン

### OMR スキャナーの調整

OMR スキャンが正常に機能するために、スキャンヘッドを用紙に印刷されているOMRマークに確実に合わせる必要があります。

1. シートフィーダー 1 のトップスキャンヘッドの位置を見つけるには、上部カバーを開けます。スキャンヘッドは、マシン後部にあります。
2. シートフィーダー 2 のボトムスキャンヘッドの位置を見つけるには、シートフィーダー 2 の下部にあるシートフィーダー 2 および紙折りプレートの両方を取り外します。スキャンヘッドは、マシンの前面に取り付けられています。

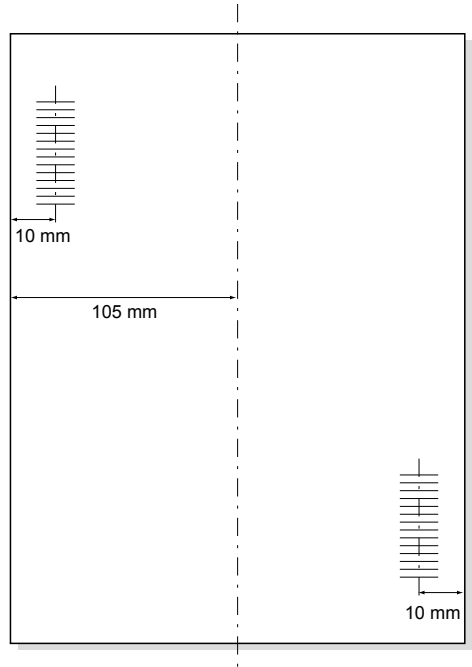


3. 用紙を 2 つ折りにして、用紙の横から中央までの長さを測ります。
  - ・ A4 サイズのシート = この長さは 105 mm になります。
4. 次に、用紙の端から OMR マークの中央までの長さを測り、この長さを半分に折った長さから引きます。

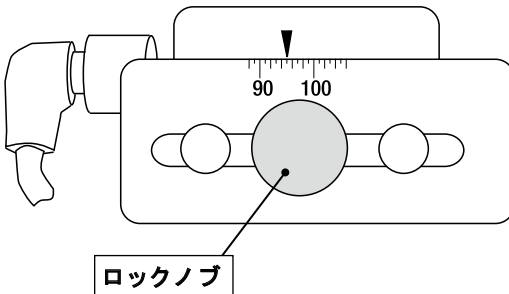
## 紙折りの例：

A4 サイズのシートの場合、半分に折った長さは **105 mm** になります。

用紙の端からOMRマークの中央までの長さが **10 mm** の場合、スキャンヘッド設定は**95mm** (105 mm - 10 mm) になります。



5. ロックノブを緩めて、スキャンヘッドを正しい位置にセットします。
6. ロックノブを締め直します。
7. ボトムシートフィーダースキャナーを調整した場合は、シートフィーダー2 および紙折りプレートの両方を取り付けます。



### OMR のトラブルシューティング

#### OMR ジョブのエラーリカバリー

OMR ジョブ中にマシンが停止し、次のエラーメッセージのいずれかが表示された場合は、次の手順を実行してください。

1. コントロールパネルで **【クリアーデッキ】** キーを押します。封入エリアにある封筒はスタッカーに排出されます。
2. 現在のセットの残りのページがフィードされ、折りが実行され、スタッカーに排出されますので、必要に応じて手で封入します。
3. 次のセットの最初のページがフィードローラーに少しフィードされ、停止します。シートを通常のフィード位置に引き戻します。
4. 処理を再開します。

#### 名寄せジョブのエラーリカバリー

名寄せジョブ実行中にマシンが停止した場合は、次の手順を実行してください。

1. コントロールパネルで **【クリアーデッキ】** キーを押します。
2. 封入エリアにある封筒はスタッカーに排出されます。フィーダーから、セットの残りのページを手で取り除きます。
3. 残りのページの折りを手動で実行し、封入します。
4. 停止の原因を特定したら、処理を再開します。

#### フィーダーが空の場合のエラーリカバリー

フィーダーが用紙切れになった場合、マシンは停止します。次の手順を行います。

1. 空のトレイに用紙を補充します。
2. **【スタート】** を押して続行するか、**【ストップ】** を押して **【クリアーデッキ】** を押します。
3. フィーダーを再度セットしてから、必要に応じて続行します。

## OMR のエラーメッセージ

メッセージ	アクション
マーク スペースガ フテキトウデス	予測された長さの半分より近い間隔で 2 つのマークが読み取られています。マテリアル上のスキャン マークを確認してください。
マークガ アリマ セン	用紙にマークがありません。スキャンセンサーがスキャンマークに対して、中心に位置していません。用紙が正しくセットされていません。
マーク コウセイガ チガイマス	用紙のコード タイプが設定と一致しません。例：設定は、「 <b>OMR+</b> シーケンス」だが、用紙は「 <b>OMR+</b> 選択フィード + シーケンス」
マーク コウセイヲ カクニン	リタイミングスキャンマークがありません。マテリアルを確認してください。例：10 のマークコードからマーク 6 が見つかりません。
ナヨセ ジュンジョ ヲ カクニン：1	予測しなかった BOC マーク（位置 4）が存在します。セットの最初のページが開始ページと判断されました。
ナヨセ ジュンジョ ヲ カクニン：2	予測された BOC マーク（位置 4）が存在しません。セットの最初のページ以外が開始ページと判断されました。
OMR：パリティエ ラー	コードに偶数のマークがありません。
OMR：シーケンス エラー	シーケンス番号が前にフィードされたページと連続していません。シートの順序が間違っているか、シートが見つかりません。
OMR：SF マークガ イチシマセン	位置 7~9 の選択フィードおよびオートバッチマークがこのセットの以前のシートのマークと異なります。
OMR：SF ショウシ ナイ	選択フィードマークが 7~8 の位置にありますが、ジョブ設定に選択フィードが含まれていません。
OMR：ナヨセ マ イスウガ オオスキ マス	セットに含まれるメインフィーダーからのシート数が多すぎます。
OMR：エンド オブ バッチ：レディ	これは、本機が「バッチの終了」により停止したことを示します。手で封筒を仕分けできます。
モードヘンコウ サイ セットアップ	セットアップモードを終了する前に、実行しているジョブに対するシートフィーダーとインサートフィーダーの設定を確認する必要があります。

このページは意図的に空白になっています。



# 5・紙詰まり解消

## 目次

紙詰まり解消 .....	5-3
マシン内部へのアクセスによる紙詰まり の除去 .....	5-3
シートフィーダートレイ - 取り外しと 取り付け .....	5-3
紙折りプレート - 取り外しと取り付け .....	5-4
インサートトレイ - 取り外しと取り付け .....	5-4
キャリッジアセンブリへのアクセス .....	5-4
封筒フィーダーエリアへのアクセス .....	5-5
封筒排出エリアへのアクセス .....	5-5
封筒封入／封かんエリアへのアクセス .....	5-6
シートフィードエリアへのアクセス .....	5-6

このページは意図的に空白になっています。

## 紙詰まり解消

マシンは、最も効率的に処理が行われるように設計されています。紙詰まりが発生した場合は、記号がディスプレイ上で点滅し、どこで障害が発生したか示します。

紙詰まりを除去するには、次の手順に従います。

1. **【クリアーデッキ】**を押して、用紙をマシンから排出します。
2. 紙詰まりが除去されない場合は、紙詰まりの原因となっているトレイと紙折りプレートを取り外し、詰まっている場所にアクセスします。

### 手動クランク

紙詰まりの場所を特定したら、手動クランクを使用して、用紙をローラーから手動で取り除くなどします。

手動クランクは、マシンの左前面にあるカバーの中にあります。



## マシン内部へのアクセスによる紙詰まりの除去

### シートフィーダートレイ - 取り外しと取り付け

シートフィーダートレイを取り外すには、次の手順で行います。

1. トレイの後部を少し持ち上げ、まっすぐに引き出します。

注：トレイに用紙がセットされている場合は、トレイを取り外す際に用紙が前に滑り出ないように、用紙を軽く押さえます。



シートフィーダートレイを取り付けるには、次の手順で行います。

1. トレイをサイドフレームの定位置ガイドに差し込みます。
2. トレイの後部を少し持ち上げ、マシンに押し込みます。トレイは、自動的に正しい位置に収まります。

## 5・紙詰まり解消

### 紙折りプレート - 取り外しと取り付け

紙折りプレートを取り外すには、次の手順で行います。

1. プレートの下にある2つの留め具を外側に引いて緩めます。
2. プレートをまっすぐに引き出します。



紙折りプレートを取り付けるには、次の手順で行います。

1. プレートの下にある2つの留め具を外側に引いて緩めます。
2. プレートを定位置ガイド内にスライドして留め具をずらして、プレート在所定の位置に固定します。

### インサートトレイ - 取り外しと取り付け

インサートトレイを取り外すには、トレイをマシンからまっすぐに引き出します。

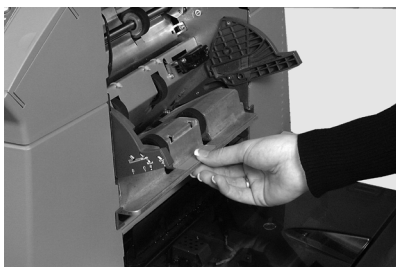
インサートトレイを取り付けるには、トレイを定位置ガイド内にスライドさせ、カチっという音がするまで押します。



### キャリッジアセンブリへのアクセス

紙詰まりの場所にアクセスするには、キャリッジアセンブリを引き出します。

1. インサートフィーダーを取り外します。
2. 紙折りプレート2を取り外します。
3. キャリッジアセンブリを取り外します。



## 封筒フィーダーエリアへのアクセス

封筒エリアのフィードローラーを取り外して、封筒フィーダーエリアの紙詰まりの場所にアクセスします。

1. リリースレバーを矢印の方向に引きます。
2. 封筒エリアのフィードローラーを持ち上げて、紙詰まりの場所にアクセスします。



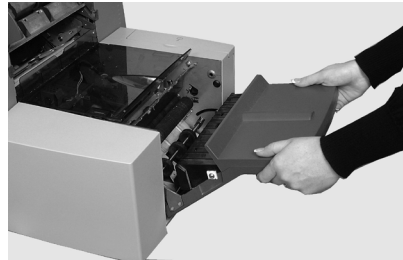
フィードローラーをもう一度元に戻すには、次の手順で行います。

1. 封筒フィーダーエリアのフィードローラーをずらして、定位置に戻します。
2. ローラーをしっかりと下に押し込み、定位置に固定します。

注：封筒フィーダーエリアで詰まった封筒を取り除く場合は、折りプレート1とシートフィーダー2を取り外しておくこと、スムーズにいきます。

## 封筒排出エリアへのアクセス

1. アクセスカバー（写真を参照）を引き下げて、紙詰まりの場所にアクセスします。
2. アクセスカバーを閉じる際は、しっかりと閉まったことを確認してください。

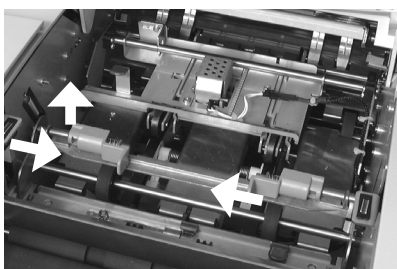


## 5・紙詰まり解消

### 封筒封入／封かんエリアへのアクセス

封入エリアおよび封かんエリアにアクセスするには、次の手順で行います。

1. 色のついたプラスチックカバーを持ち上げて、封筒インバーターアクセスカバーを引き下げます。
2. 画像で矢印が付いている部分を取り外して、詰まっている用紙を除去することができます。



### シートフィードエリアへのアクセス

青いハンドルを取り外して、シートフィーダーエリアの紙詰まりの場所にアクセスします。

1. 上部カバーを開けます。
2. 2つの青い取手を一緒につまんで、ガイド部分を右方向に回してから、紙を除去します。



青いハンドルをもう一度元に戻すには、次の手順で行います。

1. 2つ青い取手を一緒につまんで、ガイド部分を元に戻し、しまい込みます。
2. ガイド部分がしっかりと定位置に収まっていることを確認してから、2つの青い取手を放します。
3. 上部カバーを閉じます。

# 6・トラブル シューティング および エラーメッセージ

## 目次

トラブルシューティング全般.....	6-3
シーラーユニットのフェルトの交換.....	6-7
エラーメッセージ.....	6-9

このページは意図的に空白になっています。



# トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・6

## トラブルシューティング全般

問題	解決方法
<b>本体</b>	
<b>ディスプレイに何も表示されない</b>	
電源が入っていない	電源コードがしっかりと接続されており、コンセントで電気がきていることを確認してください。
マシンのスイッチがオンになっていない	電源スイッチ（左正面）をオンにしてください。
<b>マシンが動作しない</b>	
カバーが開いている	すべてのカバーが閉じていることを確認してください。ディスプレイでカバーの位置を確認してください。
フィードトレイまたは紙折りプレートが正しく取り付けられていない	すべてのフィーダーと紙折りプレートを取り外して、取り付け直してください。正しい位置にしっかりと固定されていることを確認してください。
<b>封入の問題</b>	
封入物が封筒に正しく封入されていない	封筒のトラブルシューティング情報を確認してください。 用紙のサイズに合った正しい紙折りが選択されていることを確認してください。 厚い用紙または薄い用紙を使用する場合は、封筒ストップ調整の変更が必要な場合があります。

## 6・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ


問題	解決方法
<b>封筒</b>	
<b>封筒がフィードできない</b>	
封筒のサイドガイドが正しくセットされていない	ガイドを封筒幅に合わせてセットし、1/4 戻します。
封筒の品質に問題がある	封筒が丸まっていないことを確認してください。新しい封筒を使用してください。セットする前に封筒の束をパラパラとめくってさばいてください。
封筒が正しくセットされていない	封筒フラップ側を上向きに、フラップ反対側からフィードしてください。
<b>封筒が開いていない</b>	
封筒が正しくセットされていない	封筒フラップ側を上向きに、フラップ反対側からフィードしてください。
封筒の品質に問題がある	湿気のために、封筒が互いにくっついていないことを確認してください。新しい封筒を使用してください。
<b>封筒の封かんの問題</b>	
封かん水がありません	シーラーユニットに封かん水を補充してください。
封かんモードが選択されていない	<ul style="list-style-type: none"><li>ジョブの設定を確認してください。</li><li>封かんモードをオンにしてください。</li></ul>
封かんが不十分です	封かんフェルトの交換が必要な場合があります。詳細は機器の販売元にお問い合わせください。

## トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・6

問題	解決方法
<b>シート</b>	
<b>シートがフィードできない</b>	
フィードするフィーダーが選択されていない	ジョブの設定を確認してください。
シートフィーダーのサイドガイドが正しくセットされていない	ガイドをシート幅に合わせてセットし、1/4 戻します。
シートが正しくセットされていない	セットする前にシートの束をパラパラとめくってさばいてください。
<b>複数のシートがフィードされる</b>	
手差しフィードモードが選択されている	ジョブの設定と手差しフィードレバーの位置を確認してください。
シートが正しくセットされていない	セットする前に用紙の束をパラパラとめくってさばいてください。
<b>宛先が封筒の窓に正しく表示されない</b>	
住所が記載されたシートが正しくセットされていない	封筒窓から住所が見えるようにシートをセットしてください。
紙折りが正しく設定されていない	ジョブの設定を確認してください。
<b>正しく折られていない</b>	
紙折りとミシン目の位置がほとんど重なっているために、箱折り等になっている	紙折りサイズを微調整して、問題を解決してください。

## 6・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

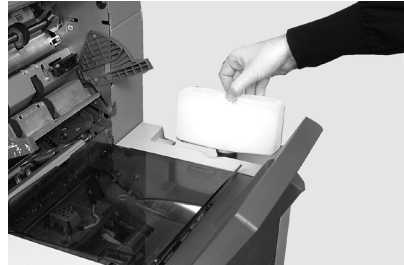
問題	解決方法
<b>インサート</b>	
<b>封入物が正しくフィードされない</b>	
フィーダーがフィードするように選択されていない	ジョブの設定を確認してください。
インサートフィーダーのサイドガイドが正しくセットされていない	ガイドを封入物の幅に合わせてセットし、1/4戻します。
インサートフィーダーのセパレーターが正しく調整されていない	使用する封入物のタイプに合わせて、2つのフィーダー調整（数字とアルファベット設定）が正しく行われていることを確認してください。
封入物が正しくセットされていない	セットする前に封入物の束をパラパラとめくってさばいてください。封入物の束の向きを変更する方法もあります。
インサートフィーダーのウェッジ（押さえ）が正しくセットされていない	ウェッジを下にスライドさせて、封入物の束の後ろで支えるようにセットします。
封入物が仕様に合っていない	本書で仕様を確認してください。

<b>二重検知</b>	
<b>インサーターが実際には発生していないダブルフィードのために停止するか、ダブルフィードが発生しても停止しない</b>	
二重検知機能がオンになっていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>二重検知機能の状態を確認してください。二重検知機能が動作している場合、二重検知アイコン  が、すべてのアイテムの横に表示されます。</li> <li>必要に応じて、用紙のセットまたはジョブ設定を修正してください。</li> </ul>
二重検知機能が正しく調整されていない	新しい用紙をセットした場合は必ずテストを実行し、二重検知機能を再調整してください。新しい用紙では厚みがわずかに異なる場合があります。

## シーラーユニットのフェルトの交換

正常に封かんでできない場合、シーラーユニットのフェルトの交換が必要になることがあります。オペレーターが必要に応じて、交換できます。

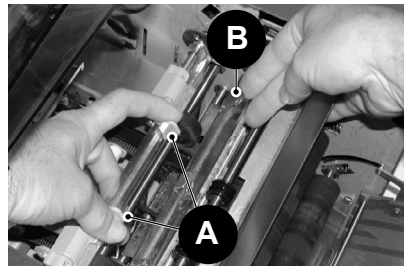
1. マシンの後方右側にある水ボトルカバーを開き、ボトルを取り外します。



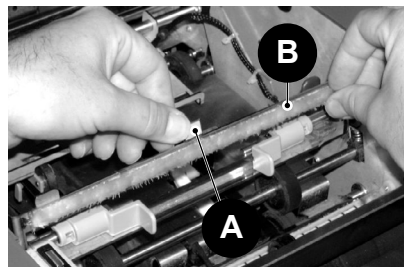
2. 封筒インバーターのアクセスカバーを開け、封入エリアのプラスチックカバーを持ち上げます。



3. 2つの青いタブ (A) を両側からつまんで青いタブ (B) を持ち上げると、シーラーユニットのフェルトが見えるようになります。

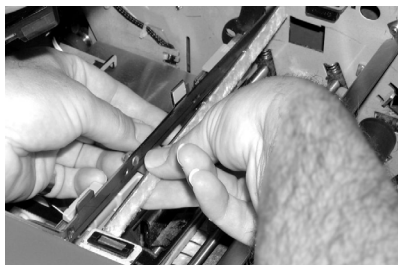


4. ラッチ (A) を後方に押し、上部シーラーフェルト (B) をつかみ、マシン前方に向かってスライドします。



## 6・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

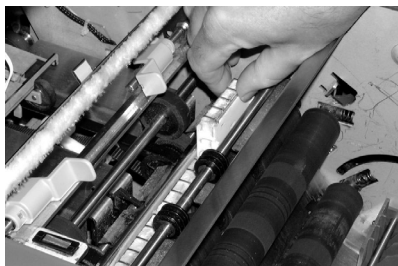
5. フェルトをバーから取り外し、古いフェルトを廃棄します。
6. 新しい上部フェルトを取り付けます。フェルト部の裏にあるつまみを見つけて、取り付けバーの対応する穴に差し込み、マシンの後方に向かってフェルトをスライドさせてます。フェルトがしっかり取り付けられていることを確認します。



7. キットに同梱されているプラスチックのピンセットを使用して、封かん水タンクから4枚のフェルトすべてを取り外します。これらの古いフェルトは廃棄します。



8. 新しい4枚のフェルトを封かん水タンクに取り付けます。フェルトは、1方向にのみ取り付けることができます。フェルトを完全に押し下げて、タンクに取り付けます。



9. 青いツメを押し下げて、上フェルトアセンブリを動作位置に戻します。青いラッチ (A) が飛び出して、しっかりと固定されていることを確認します。



10. 水ボトルを元の位置に戻し、カバーを閉じます。

# トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・6

## エラーメッセージ

メッセージ	アクション
サービス コール	機械の電源をいったん切って、もう一度入れてみてください。それでもメッセージが表示される場合は、弊社カスタマーサービス部までご連絡ください。
フィーダー ヲ チェック	表示されたフィーダーが用紙をフィードしていません。用紙をフィーダーから取り出し、セットし直してから、機械を再起動してください。
フィーダー ヲ シラベテクダサイ	表示されたフィーダーが正しく装着されていません。トレイを取り外して装着し直してください。表示されたフィーダーの用紙のセットを確認してください。
オリ プレート ヲ シラベテクダサイ	表示された折りプレートが正しく装着されていません。折りプレートを取り外して装着し直してください。
インバーター ヲ チェック シテクダサイ	封筒インバーターユニットが正しい位置に装着されていません。インバーターカバーを開けて、用紙の有無を調べ、カバーを閉めて、再起動してください。
サイゴ ノ フウトウ ヲ チェック	封筒が開いていません。封筒が正しくセットされているか確認してください。封筒をセットし直して、機械を再起動してください。
オリプレートノ ヨウシ クリア	折りプレートの内側に用紙が見つかったとディスプレイに表示されています。折りプレートを取り外して、用紙の有無を調べ、もう一度取り付けてください。
クリア インサート ブ	封入エリアに用紙もしくは封筒が見つかりました。機械の左側の薄いプラスチックカバーを開けて、用紙もしくは封筒を取り出してください。カバーを閉めて、再起動してください。
クリアー モイスト ナー	シーラーブラシエリアに封筒が見つかりました。機械の左側の薄いプラスチックカバーを開けて、用紙もしくは封筒を取り出してください。カバーを閉めて、再起動してください。
クリアー シーラー	シーラーブラシエリアに封筒が見つかりました。機械の左側の薄いプラスチックカバーを開けて、用紙もしくは封筒を取り出してください。カバーを閉めて、再起動してください。
カバー ヲ トジテクダサイ	表示されたカバーがしっかり閉まっていません。表示されたカバーを閉めて、再起動してください。
ハンド クランク カバー ヲ トジテクダサイ	手動クランクのカバーがしっかり閉まっていません。カバーを閉めてください。

## 6・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

メッセージ	アクション
デフレクター エラー	半分折りの機能が何らかの原因で動いていません。折りプレートを取り外して、用紙の有無を調べてください。
ダブルフィード	表示されたフィーダーから二重送りが検出されました。機械から用紙を取り除き、再起動してください。二重送りが繰り返される場合は、テストを繰り返してください。
ダブル チェック (スタッカー)	表示されたフィーダーから二重送りが検出されました。スタッカーから二重送りされた用紙を取り除き、機械を再起動してください。
オリ プレート ガ セット サレテイマセン	折りプレートが正しい位置にセットされていません。折りプレートを取り外して、用紙の有無を調べてください。折りプレートを再装着して再起動してください。
マニュアル フィード タイムアウト	フィーダーに入れられた用紙が見つかりません。手差しフィードモードの場合は、設定時間内に用紙をフィードしてください。[スタート]を押して再起動してください。
ヨウシ ガ ミジカスギマス	使用している用紙が短すぎます。使用する用紙の長さが、表示されている長さに合っているかを確認してください。正しい場合は、もう 1 度テストをしてください。
ヨウシ ショート チェック (スタッカー)	使用している用紙が短すぎます。使用する用紙の長さが、表示されている長さに合っているかを確認してください。正しい場合は、もう 1 度テストをしてください。
レバー ヲ セット シテクダサイ	手差しモードに対してフィードレバーの位置が正しくありません。レバーを正しい位置に移動してください (左: 手動、右: 自動)。
ストリーム フィード	フィーダーから 2 枚の用紙が同時にフィードされています。本体から用紙を取り除き、セットし直して、マシンを再起動してください。
ストリーム フィード チェック (スタッカー)	フィーダーから 2 枚の用紙が同時にフィードされています。スタッカーから同時にフィードされた用紙を取り除き、セットし直して、機械を再起動してください。
システム エラー デンゲン オフ	ソフトウェアに何らかの障害が見つかりました。電源をいったん切ってから、入れ直してください。エラー表示が繰り返される場合、弊社の担当者にご連絡ください。
ヨウシ ガ アリマセン	表示されたトレイに用紙がありません。トレイに用紙をセットし直して、[スタート]を押してください。



## トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・6

このページは意図的に空白になっています。

# 7・マテリアルの仕様

## 目次

マテリアルの仕様.....	7-3
シートフィーダー .....	7-3
インサートフィーダー .....	7-5
シーラー.....	7-5
スタッカー .....	7-5
用紙要件.....	7-5
封筒フィーダー .....	7-6
マシンの仕様.....	7-7
サービス .....	7-8

このページは意図的に空白になっています。

## マテリアルの仕様

### シートフィーダー

最小用紙サイズ： 幅 127 mm  
長さ 127 mm

最大用紙サイズ： 幅 229 mm  
長さ 406 mm

用紙の重量： 最小 60 g/m<sup>2</sup> (OMR 以外)  
最小 70 g/m<sup>2</sup> (OMR)  
最大 120 g/m<sup>2</sup>

折りの設定（紙折り前の用紙の長さ制限）：

折りタイプ	計測値
二つ折り	127 mm～315 mm
内三つ折り	150 mm～356 mm
外三つ折り	201 mm～356 mm
四つ折り	305 mm～406 mm

二重検知用紙の範囲：

最小： 60 g/m<sup>2</sup>  
最大： 120 g/m<sup>2</sup>

フィードトレイの容量： 80 g/m<sup>2</sup>、シートで最大 325 枚

手差しフィードモード：

- インサーターは、80 g/m<sup>2</sup> の用紙を最大 5 枚セット（ホチキス留めあり、最大 400 g/m<sup>2</sup>）まで処理可能です。  
注：手差しフィードでは、シートフィーダー 1 のみを使用し、必要に応じてインサートフィーダーを使用できます。
- 折り後の最大の厚みは、2 mm を超えないようにしてください。
- 光沢紙およびコート紙の使用はお勧めしません。

## 7・マテリアルの仕様

### 折りタイプと全体の厚さの制限

下の表は、用紙の紙質の違いに基づいて、積載または丁合いが可能な最大シート数を示しています。

重要！これらの最大枚数を超えるジョブを設定したり、OMRコード印刷や OMR 選択フィードで設定しないでください。

シート数	用紙の重量 (g/m <sup>2</sup> )		
	60 ~ 80	81 ~ 100	101 ~ 120
1	C、Z、S、D	C、Z、S、D	C、Z、S、D
2	C、Z、S、D	C、Z、S、D	C、Z、S
3	C、Z、S、D	C、Z、S	C、Z、S
4	C、Z、S	C、Z、S	
5	C、Z、S		

折りタイプ：C=内三つ折り、Z=外三つ折り、S=二つ折り、D=四つ折り

#### 注

- 郵便の内容物の厚みが 2 mmを超えない場合に限り、補助フィーダーから 1 枚と封入物を 1 枚さらに追加できます。
- 60 ~ 75 g/m<sup>2</sup>用紙を二つ折りする場合は、封筒には最大 10 枚入れることができます。この最大数には、補助フィーダーやインサートフィーダーからの追加の枚数が含まれます。その場合も、厚みの最大値である 2 mmが適用されます。

### インサートフィーダー

**最小サイズ：** 幅 127 mm  
長さ 82 mm

**最大サイズ：** 幅 230 mm  
長さ 152 mm

**用紙の重量：** 最小 75 g/m<sup>2</sup> (折りなし、カットシート)  
最大 180 g/m<sup>2</sup> (1枚のシート)  
最小 60 g/m<sup>2</sup> (折り済み)  
最大の厚みが 2 mmの封入物

折り済み封入物および 1 枚板状の封入物は、インサートフィーダーからフィードする必要があります。

### 二重検知

**用紙幅：** 最小 60 g/m<sup>2</sup>  
最大 120 g/m<sup>2</sup>

**フィードトレイの容量：** 最大 300 枚

### シーラー

1 回の補充で最大 1,200 枚の封筒を封かんします。

### スタッカー

封筒スタッカーには、封入済みの封筒を最大 150 通積み重ねられます (封筒サイズと内容物によって変わります)。

### 用紙要件

- 最高の性能を得るために、ピツニーボウズ推奨用紙のみを使用してください。
- 品質を維持するために、用紙は適切な方法で保管してください。
- 推奨される保管条件  
18°C~25°C  
40%~60% の相対湿度

## 7・マテリアルの仕様

### 封筒フィーダー

最小封筒サイズ： 縦 88 mm  
横 220 mm

最大封筒サイズ： 縦 164 mm  
横 242 mm



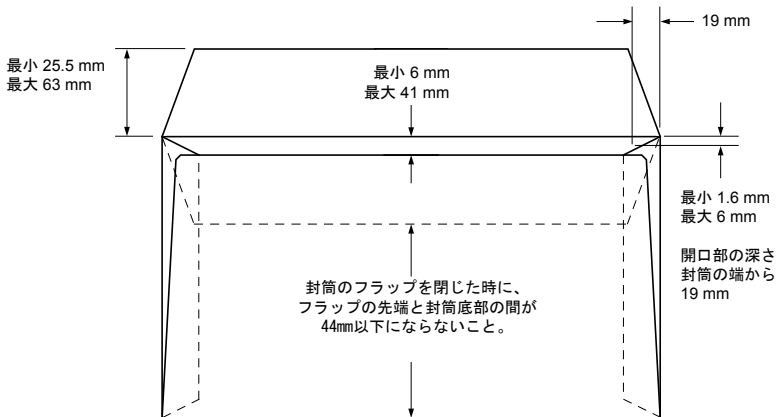
封筒の重量： 最小 65 g/m<sup>2</sup>  
最大 100 g/m<sup>2</sup>

封筒トレイの容量： 最大 300通（90 g/m<sup>2</sup>）の封筒。

端の余白： 封入物と封筒の端の余白は、両端とも最小 6 mm です。つまり、合計で最小 12 mm です。この余白は、封筒に入れるすべての用紙に適用されます。

深さの余白： 封入物は、封筒に完全に挿入後、フラップの折り目の下に、紙折りしていない用紙は最小 3 mm、紙折りしている用紙は 6 mm の余白が必要となります。

### 封筒のフラップと開口部の要件





### マシンの仕様

#### マシンサイズ：

長さ： 980 mm  
奥行き： 514 mm  
高さ： 525 mm  
重量： 65 kg

騒音レベル（稼働中）： 73 dBA

#### 電源仕様：

100 V、50/60 Hz、6A

#### 処理スピード：

1時間あたり最大 3,000 サイクル（折りタイプ、用紙の品質により異なります。）

#### 紙折りモード：

- 二つ折り
- 内三つ折り
- 外三つ折り
- 四つ折り

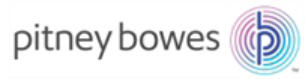
## 7・マテリアルの仕様

---

### サービス

ピツニーボウズサービスはインサーターを最高の状態をご利用いただくために、保守契約を提供しています。詳細は、お近くのピツニーボウズオフィスまたは指定販売店までご連絡ください。

このページは意図的に空白になっています。



ピツニーボウズジャパン(株)  
[www.pitneybowes.com/jp](http://www.pitneybowes.com/jp)

SV63140-JA Rev. D  
© 2016 Pitney Bowes Inc.  
All Rights Reserved